

## (1)地域づくり活動の支援に関する施策

## ①新たな活動を生み、育む

□多様な情報を使いやすく提供します

■さまざまな地域資源に関する情報を多様な媒体を活用して提供します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ひょうごインターキャンパスの運営	県内の生涯学習関係機関の連携のもと、総合的な学習機会の提供や個々人の学習計画づくりなどを支援するため、インターネットを活用した生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」を運営する。(神戸県民局神戸生活創造センター生涯学習情報プラザ)	参画機関 459団体	・参画機関数の増加の呼びかけ ・情報発信数の増加の呼びかけ	8,492	県民政策部 生活創造課
生涯学習情報プラザの運営	県内の学習機関の連携のもとで、県民への学習情報の提供や学習相談などのアドバイス機能のほか、学習グループや学習指導者の育成機能などの全県的な学習支援拠点機能を有する「生涯学習情報プラザ」を運営する。	・県内の生涯学習機関と連携し、生涯学習アドバイザーが学習情報の提供、プランニングなどのアドバイスを実施	・生涯学習機関のさらなるネットワーク化と連携強化	4,076	県民政策部 生活創造課
地域づくり活動登録制度の運用	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			—	県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営	行政・民間の支援機関・中間支援NPO、企業等が実施している地域づくり活動支援施策・事業に関する情報と、NPO、ボランティアグループ、地域団体等による地域づくり活動支援の募集に関する情報を集約し、分野別・地域別に整理の上、インターネットで広く提供する「ひょうごボランティア活動支援ナビ」の機能を、地域づくり活動情報システム「コラボネット」に加えて運用する。	・登録件数 支援情報 366件 募集情報 212件 ・携帯サイトからの情報発信	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	—	県民政策部 参画協働課
「ユニバーサル社会づくり」情報発信事業(再掲)	—			—	健康生活部 ユニバーサル課
中小企業支援センター事業の実施	創業から経営革新まで中小企業者の多様な経営課題を解決するため、(財)ひょうご産業活性化センターを中小企業支援法に基づく中小企業支援センターとして指定し、知識・人材・情報等のソフトな経営資源をワンストップで提供する。	窓口相談:3,317件	一層の広報による利用の促進	120,718	産業労働部 経営支援課
外国人県民安全・安心ネットの推進	外国人県民が安全で安心して生活できる環境づくりを進めるため、多言語による情報提供や日本語学習の支援、外国人県民相談を充実する。	NGOとの協働による外国人県民相談活動の充実 ・相談件数:255件	・外国人県民からの幅広い意見聴取とときめ細やかな相談の充実	24,796	産業労働部 国際政策課

農のゼロエミッションの推進	農山漁村等における資源の有効利用と循環型社会の構築をめざすため、食品廃棄物や農産物残さ、間伐材、もみ殻等を有機性資源(バイオマス)としてとらえ、たい肥・肥料などのリサイクル利用や、メタン発酵などのエネルギー利用等について、県、市町、民間事業者、NPO、農林漁業者、県民等が連携して推進する。	・県民局等における相談窓口活動の実施 件数:44件 ・「農」のゼロエミッション推進大会の開催 県民等参加者:150人 ・「ひょうごバイオマスecoモデル登録制度」への登録 H18登録:14事例	前年度に引き続き、具体的なバイオマス利活用取り組みの周知・PR等を通じた取り組みの普及・拡大を図るとともに、リサイクル製品の利用拡大や廃棄物の削減、分別の徹底などの意識啓発を、県、市町、民間事業者、NPO、農林漁業者、県民等が役割を分担しつつ連携して推進	4,934	農林水産部 消費流通課
多自然居住支援サイトの運用	都市住民による多自然居住の実現と、多自然居住地域の市町・活動団体等の効率的な情報発信に資するため、県内の多自然居住を希望する都市住民が田舎暮らしに必要なあらゆる情報を効率的に入手できるサイトを開設・運営する。	・サイトの内容の更新を行った。	・今後も継続して市町、県民局、活動団体からの情報を収集し、サイトの内容の更新を行う。	—	県土整備部 都市政策課
神戸地域防犯活動の支援	安全・安心なまちづくりを目指して、三宮北部地域において、県・市・警察、地域団体の協調のもと、「三宮クリーン作戦」を実施した。	・三宮クリーン作戦 600人(100人×6回)	・関係機関が引き続き協力をして、「地域防犯」の機運の醸成に努める。	96	神戸県民局 企画県民部 さわやか県政・連携担当 当参事
神戸ツーリズム資源情報の発信	ツーリズム志向の高まりを受け、地域ツーリズム情報の収集・集積、情報発信のためのホームページ作成により地域のツーリズム資源の把握と情報発信を行う。	これまでのホームページは廃止し、冊子「神戸のおもしろツーリズム」を作成配布。	神戸県民局のHPに神戸観光情報をリンクして発信していく。	198	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 当参事
阪神南なぎさフェスタの推進	阪神南地域における住民の参画と協働による環境再生の取り組みをアピールし、地域のイメージアップを図るとともに環境先進都市づくりを全国に発信するためのシンボルイベントを開催する。	のじぎく国体、のじぎく兵庫国体の「おもてなし事業」としてイベントカレンダー・マップの作成や3市の地域イベントも実施した。	同時開催事業との調整を図り、イベントの発信力を高める。	5,000	阪神南県民局 企画調整部 地域魅力づくり担当 当参事
阪神若手音楽祭の開催	若手ミュージシャンに発表の場を提供するとともに、ネットワーク構築を支援することにより、活動の活性化を促し、また、芸術文化の核となる人材を育成し、阪神間の芸術文化の振興を図る。	10組のグループ・個人で最終審査実施。	西宮市との共同実施事業への検討	1,000	阪神南県民局 企画調整部 地域魅力づくり担当 当参事
阪神芸術文化サポータークラブ(芸術文化活動に関する情報提供・交換の場)の運営	サポーター(無料登録会員)から、イベント等の情報を収集するとともに、ホームページやメールマガジンでそれらの情報を発信していく。	平成19年4月末で721人のサポーターの参画を得て、情報の収集発信を実施。	積極的なサポーター登録のPRによるサポーター数の拡大、情報発信の呼びかけ強化による情報発信の拡充	1,260	阪神南県民局 企画調整部 地域魅力づくり担当 当参事
地域de情報ゲット事業～地域deお届け～ in 阪神北	県民運動情報を登録団体・企業に提供する(原則月1回)。また、県民運動情報だけでなく地域や企業が発信する地域に役立つ情報を積極的に取り上げるとともに、県民運動に関するアンケートを同封するなど、各種の行事に参加できない県民の意見を取り上げていく。	配布状況 ・配布先数:79件 ・啓発グッズ等種類数:114 ・配布数:41,100枚	平成18年度で事業終了	509	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 当参事

地域de情報ゲット事業～ポスト de ゲット～ in 郵便局	管内等(西宮市北部含む)に76ある特定郵便局、普通局5局の計81局を通じて啓発グッズやイベント情報などを提供する。また、県民局からは管内の情勢、特定郵便局からは地域に密着した情報を相互に交換・共有する。	配布状況 ・設置個所数:81カ所 ・啓発グッズ等種類数:119 ・配布数:48,195枚	・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	473	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
地域de情報ゲット事業～タクシー de ゲット～ in 阪神北	県民運動をさらに地域に浸透させるため、県民への県政情報等の新たな提供窓口として、管内最大手である阪急タクシー(株)の協働を得て、地域の老若男女が利用するタクシーの車内等において、啓発グッズ・県政情報チラシを提供し、少しでも多くの人に県からの情報を役立ててもらい、地域課題に取り組む機運を醸成する。	配布状況 ・設置個所数:8カ所 ・啓発グッズ等種類数:103 ・訪問営業所:1カ所 ・配布数:4,024枚 ・タクシー台数:246台	・他のタクシー会社への協働の働きかけ ・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討 ・地域情報をつなぐ中心的役割の移行(県民局から地域の団体・NPO等へ)の検討	71	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
地域de情報ゲット事業～ファックス de ゲット～ in 阪神北	登録された地域の個人・団体や機関に、A4版2枚程度の情報をファックスにより提供する(原則月1回)。また、登録先が主催する公益性の高い事業情報等についても掲載する。	配信状況 ・登録人数:618人 ・配信数:6,873枚	・協働団体、個人の新たな開拓 ・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	434	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
地域de情報ゲット事業～ネットdeゲット～ in 阪神北	インターネットを利用して、老若男女を問わずさまざまな年齢層に県民局からリアルタイムで情報を提供し、県民が家庭等で居ながらにして様々な情報を入手、または、ニーズや意見などを発信することができる双方方向による事業を展開する。	配信状況 ・月1回 ・年12回更新	・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	124	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
「北播磨キャンペーン」の実施	北播磨地域ならではの魅力情報を、テレビ、ラジオなどの媒体を活用して、広域に発信する。	毎月第4木曜日にラジオ関西を活用して、北播磨のイベント情報などを発信する広報番組を放送した。 また、旅行情報誌「大人のウォーカー」に北播磨のPR記事(2ページ×2回)を掲載した。	ラジオ番組への出演を各種団体へ依頼するなど住民参画によるPRの実施などを推進する。	3,859	北播磨県民局 企画調整部 北はりまハートランド 担当 参事
丹波県民局施策等の紹介冊子の発行	地域住民・関係団体をはじめ、県民各層との情報の共有を図り、県政への参画と協働を推進するため、平成18年度丹波県民局主要施策等を紹介する冊子を発行する。	3,000部作成し、各種関係団体の総会や会議での配布、県民局等の窓口での配布を通じて、県民局施策のPRを行った。	県民局の主要施策を紹介するだけではなく、県民局の業務全般をわかりやすく紹介するなど、県民に向けた情報発信を多様化する必要がある。	649	丹波県民局 企画調整部 企画調整・市町担当 参事
たんば田舎暮らしふれあい事業～心の原風景を求めて～	田舎暮らし実践者による「たんば・田舎暮らしフォーラム」の開催を支援することにより、丹波地域の活性化を図る。	・フォーラム開催回数:3回 ・延参加者数:382人	・フォーラム参加者へのフォローアップ ・実行委員会、その他地域における取り組み団体との連携	1,200	丹波県民局 企画調整部 丹波の魅力づくり担当 参事

■情報共有の場となる「地域づくり活動情報システム(コラボネット)」が広く活用されるようPRに努めます。その中で、地域づくり活動に関する支援情報や活動ノウハウなどをパッケージ化して提供、検索できる「ひょうごボランティア活動支援ナビ」について内容を拡充します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動登録制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
「ユニバーサル社会づくり」情報発信事業	ユニバーサル社会づくりを推進するため、理念の普及や実践活動の展開に向けての先導的な情報発信を行う。	・情報誌「ユニバーサルひょうご」を7月、11月、2月に発刊 (総部数:15,000部) ・ホームページ「ユニバーサルひょうご」18年度アクセス数5,994	・ユニバーサル社会づくりの理念の普及 ・県立施設のバリアフリー状況のデータベース化	5,915	健康生活部 ユニバーサル課

■参画と協働の考え方やノウハウなどをまとめた実践活動向けの手引などを作成し、地域づくり活動の一層の普及・啓発を進めます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
参画と協働ガイドブック(県民向け)の作成	参画と協働のさらなる浸透・定着を図るため、参画と協働の考え方や、活動を始めたり、継続・拡充するためのヒント、県行政へのアプローチ方法などを分かりやすくまとめたガイドブックを作成する。	・地域づくり活動の事例や県行政への参画と協働を進めるための主な施策を交えながら、参画と協働を分かりやすく説明したうえで、地域づくり活動を始めたり、継続・拡充するためのヒント、県行政へのアプローチ方法などをフローチャートや34のQ&Aで分かりやすく掲載 ・作成にあたっては、地域団体やNPOの実践活動家等との意見交換や県民生活審議会での審議を経て、内容を検討 ・作成部数:5,000部	・平成17年度に実施した参画・協働条例に基づく施策の効果の検証の結果、地域づくり活動の担い手の確保に関する課題が明らかとなった。 ・このため、平成18年度に作成した本ガイドブック等を活用し、参画と協働の推進方法等について多様な方法で県民と意見交換を行うキャラバン事業(出前講座)を実施するとともに、本ガイドブックの県ホームページへの掲載や県民局・ひょうごボランティアプラザ等での配布等を行うことにより、参画と協働の一層の浸透を図る。	389	県民政策部 参画協働課

■地域づくり活動サポーターが中心となって、相談に対応するとともに、広く県民から提案を受け付ける体制を充実します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動サポーターの設置(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
NPO専門相談窓口の設置	NPO等が活動する過程において生じる法律や会計・財務などの実務的な諸問題についての専門相談窓口をひょうごボランティアプラザに設置する。	弁護士会、公認会計士会の会員等が専門相談を実施 ・相談件数 9件 ・相談日数 5日	・制度の周知及び県民のニーズ把握に努め、制度の活用を一層促進する。	179	県民政策部 参画協働課

## □地域に潜在する多様な人材の参画・協働を進めます

■学生などの若い世代や勤労者、2007年頃から退職期を迎える団塊の世代、高齢者、子育て中の親、外国人など多様な人々が、それぞれの特性をいかして地域づくり活動に参画・協働できるよう、身近な活動の場や活動の情報を得る窓口の設置などに取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
県民交流広場事業の 展開(再掲)		—			県民政策部 生活創造 課、各県民 局
生活創造センター構 想の推進	各地域の文化会館等が、さまざま な分野の生活創造活動を支援する 拠点となるよう機能の充実を図ると ともに、文化会館、生活科学セン ターの建て替え時等に合わせ、各 地域に生活創造センターの整備を 進める。	・神戸生活創造センター の運営 ・丹波の森公苑の運営 ・東播磨生活創造セン ターの建設工事等着手	・神戸生活創造セン ター、丹波の森公苑 の運営の一層の充実 ・参画と協働の手法 による東播磨生活創 造センターの整備推 進と開設(H20.4)に向 けた準備	0	県民政策部 生活創造課
「若者ゆうゆう広場」 事業の拡充(再掲)		—			県民政策部 青少年課
わくわく幼稚園・わく わく保育所の開設	【わくわく幼稚園】 家庭や地域の教育力が低下し子ども によるいじめ、学級崩壊(小1プロ ブレム)等の問題行動が増加してい ることから、在宅幼児を地域の幼児 教育センターである私立幼稚園にお いて、特色ある幼児教育を体験さ せ、小学校への円滑な移行を支援 する。  【わくわく保育所】 在宅の4・5歳児を対象として、民間 保育所において、専門的な体験保 育を行い、児童が円滑に小学校に 移行できるようにする。	【幼稚園分】 ・在宅幼児に特色ある幼 児教育を行うわくわく幼 稚園を開設する私立幼稚 園への補助を実施。  【保育所分】 実施保育所数 100カ所	【幼稚園分】 わくわく幼稚園実施 園数の拡大を図る。  【保育所分】 県保育協会・各民間 保育所と協力し事業 実施。	【幼稚園 分】 40,080  【保育所 分】 24,000	企画管理部 教育課、健 康生活部児 童課
まちの子育てひろば 事業の拡充	子育て中の親と子が気軽に集い、 仲間づくりを通して子育ての悩みを 話し合い、情報交換ができる身近な 拠点となる「まちの子育てひろば」 (以下「ひろば」という。)の開設を促 進し、地域団体やボランティア等と の参画と協働により、子育て相談や 親子の体験活動を支援するなど、地 域全体で子育てを支えるしくみづく りを推進する。	・「まちの子育てひろば」 の開設状況 1,760  ・「まちの子育てひろば コーディネーター」を地域 に配置(平成18年度:31 名)  ・「動くこどもの館号」の派 遣 492回 ・「ひろばアドバイザー」の 派遣 600件	・専門家による相談 機能の充実や親子の 社会性の涵養につな がるような多様な体 験活動の実施、地域 の様々な世代との交 流などにより、家庭、 地域、行政の力を結 集し、魅力あるひろば 事業の一層の充実を 図る。	104,372	健康生活部 少子対策課
子育て応援ボランティ ア事業	地域では、子育て支援の団体や機 関の連携が不十分であったり、子育 て支援活動を希望する住民等が活 動につなげられていない等の課題 があることから、市町単位で子育て 応援ボランティアの地域拠点を形成 し、子育て応援の充実を図る仕組 みづくりを行う。	兵庫県社会福祉協議会 への補助により、まちの 子育てひろばコーデ ィネーター配置の4市町社 協において、地域ミー ティングの開催や子育て 応援ボランティアの養成講座 の開催、子育て応援ボ ランティア等のマッチング等 の事業がモデル的に実 施された。	モデル実施であった ため18年度限りで終 了	3,340	健康生活部 少子対策課

子育てファミリー・サポートくらぶ事業	子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行いたい人を組織化したグループ等の立ち上げや活動を支援するとともに、地域の高齢者や主婦等が培った子育ての経験や知識を生かし、積極的に子育て支援に取り組むための子育て支援グループのリーダー養成講座を実施する。	・助成グループ数：90グループ ・養成講座については、兵庫県シルバー人材センター協会に委託し、県内10カ所で開催した。	・助成予定グループ数：100グループ ・養成講座	10,388	健康生活部 少子対策課
「地域見本市“地域ってこんなところよ、お父さん！”～知ろう、創ろう我がまちの魅力～」の開催(再掲)	—	—	—	—	阪神北県民局企画調整部企画調整・市町担当参事
いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクトの推進(再掲)	—	—	—	—	東播磨県民局企画調整部水辺の地域づくり担当参事

### ■若い世代の地域づくり活動の実践力の向上を支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
“子どもの冒険ひろば”事業の拡充	子どもたちが遊びなどを通して生きる力を育めるよう、「自分の責任で自由に遊ぶ」を原則に、子どもたちがいきいきと遊べる場づくりに取り組む団体・グループ等に事業費を助成するとともに、ひろばで子どもたちを見守るプレイリーダーを開設されるひろばに派遣する。	・ひろばの開催 ひろば(広域) 20カ所 ひろば(地域) 275カ所 参加者数: 51,450人 ・ひろばクリエイター養成研修: 3カ所 ・プレイリーダーの養成研修: 年20回 養成人数: 42人 ・ネットワーク会議の開催	平成19年度に360カ所(地域)での事業展開を目指すため、地域で冒険ひろばを支援する人材の育成に努める。 また、地域の中で冒険ひろばの活動が定着し、主体的な取り組みとして輪が広がっていくよう、県民局を核とした地域内のネットワーク化を進めていく。	42,953	県民政策部 青少年課
ひょうごハートブリッジ運動の推進	地域の中で、子どもたちを温かく見守り支援しようとする大人を増やすことにより、大人と子どもがともに顔の見える関係を築くとともに、声かけや見守りから気付いた子どものシグナルを早期に受け止め、解決へと結びつけることにより、「地域の子どもは、地域で育てる」機運を高める。	ひょうごハート・ブリッジ・メンバーズの募集、登録 ・メンバーズ登録者数 54,883人	・メンバーズ登録募集の広報 ・各地域でメンバーズが取り組む運動に対する情報提供	1,132	県民政策部 青少年課
「チャレンジファミリー」地域応援事業	人材や施設等の地域資源を有効に活用し、地域の人々と協働して、親子参加型の宿泊体験事業を実施することにより、地域ぐるみで子育て家庭を応援する機運を高め、家庭や地域の教育力の再生をめざす。	子ども会、青少年団体、自治会等地域の団体等で実行委員会を組織し、地域の実状に応じたプログラムを企画・実施する。 ・プログラムの企画数(または実施数) 10事業 ・参加者数 732人、196家族	他の体験事業へ成果を引き継ぎ、モデル事業として廃止する。	2,133	県民政策部 青少年課
学生ボランティア活動助成(ひょうごボランティア基金助成)	学生のボランティア活動の入門・体験事業及びボランティアコーディネート、相談、情報発信、大学間のネットワークづくりに関する事業に助成することを通じて、学生のボランティア活動への理解と参画を促進する。 ①普及・体験事業(上限5万円) ②連携・支援事業(上限10万円)	・助成実績 9件(484千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	484	県民政策部 参画協働課

県民すべてがかかわる兵庫の教育推進事業の実施	学校、家庭、地域社会の連携のもとに展開されている教育活動の支援や、県民の教育への関心と理解を深めることを目的として、11月を「兵庫の教育推進月間」と設定し、広報活動等の実施により県民による子どもたちの教育活動へのかかわりを促進する。また、従来、実施されている授業参観や学校行事の参観をはじめ、普段の学校の教育活動を保護者や地域住民に公開する取り組みとして、「オープンスクール(学校公開)」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「兵庫の教育推進月間(11月)」に向けた県民の機運を醸成するための取り組みを推進するとともに、各地における教育活動への県民のかかわりを充実させるためのフォーラムを開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 県民、学校関係者、教育行政担当者、教育関係諸団体関係者など415名が参加</li> </ul> </li> <li>・推進月間を中心に、地域の人々が学校に関心をもち、学校を身近に感じてもらう機会として、オープンスクールを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全公立小・中学校において実施</li> <li>→ オープンスクールの受付や校内巡視活動に県民が参加</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民が教育に主体的にかかわろうとする意識の醸成</li> <li>・各校における創意工夫によるオープンスクールの実施(内容の充実)</li> </ul>	557	教育委員会 教育企画課
ネットデイでつなぐ学校と地域連携推進事業	地域住民等と学校が協力して校内LAN整備を行う「ネットデイ」を支援し、学校における校内LAN整備を促進するとともに、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の小・中学校50校でネットデイを実施</li> <li>・地域住民等延べ1,246人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等の協力を得ながら校内LANを整備する「ネットデイ」を引き続き支援</li> </ul>	9,880	教育委員会 教育企画課
高校生地域貢献事業「トライやる・ワーク」の実施	高校生が、将来にわたって積極的に地域を支える人材としての自覚と態度を養うため、地域社会の力となる活動や地域住民の豊かな暮らしづくりに結びつく取り組み(クラス単位によるボランティア活動やグループ単位による活動等)を企画し、実施する。	全県立高等学校157校で実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や保護者の積極的な協力を得ながら、引き続き全県立高等学校で継続実施</li> </ul>	123,900	教育委員会 高校教育課
ふるさと文化いきいき教室の実施	子どもたちがふるさとへの文化に触れ、人々とのつながりを体感することにより、ふるさとに愛着と誇りを持つとともに、豊かな心を育むため、「いきいき学校応援団」などの地域の人や団体等の支援を得て、学校におけるふるさとへの歴史や伝統文化、地場産業等にふれる体験活動や、地域における芸術文化活動などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいき学校応援団」等地域住民の参画と協働のもと、学校における歴史・文化に関する体験活動や地域における芸術文化活動等の実施及び地域の伝統文化活動にふれ、子どもたちが交流する県域のフォーラムの開催。</li> <li>・「地域におけるいきいき教室」の開設(継続的な教室(98校区)、啓発的な教室(484回))</li> <li>・「学校におけるいきいき教室」の開設(41市町156校)</li> <li>・「ふるさと文化再発見フォーラム」の実施(児童・生徒、指導者、教育行政関係者218名参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市町で教室を開設するための取り組みの推進</li> <li>・県民が子どもたちのふるさと観を育むための教育に主体的にかかわろうとする意識の醸成</li> <li>・子どもたちが地域の歴史や文化に触れ、人々とのつながりを体感する体験活動の充実</li> </ul>	35,570	教育委員会 社会教育課、義務教育課
子どもの居場所づくり推進事業	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、社会教育施設や学校等を活用した子どもたちの居場所(活動拠点)を整備するとともに、地域の大人を指導員として配置し、様々な体験活動や地域住民との交流活動を支援することで子どもを見守り育てる地域の教育環境の再生を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町の居場所づくり推進協議会の設置</li> <li>・地域子ども教室等の開設(県内191教室)</li> <li>・子ども居場所づくりコーディネータの配置</li> </ul>	平成18年度で事業終了	144,823	教育委員会 社会教育課

スポーツクラブ21ひょうごの推進	21世紀において豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じて地域コミュニティづくりや地域の教育力を活用した青少年の健全育成を図るため、小学校区を基本単位に、県民誰もが参加できる地域住民の主体的運営による地域スポーツクラブの設立を支援する。	・クラブの状況 会員数 342,461人 ・ブロック別交流大会 (5,464名参加) ・全県交流フェスティバル (637名参加)	住民の参画と協働による地域ごとのスポーツクラブの継続的な運営のため、以下の取り組みを推進 ・安定した財務基盤を確立するための活動規模等に見合う会員数確保と会費設定 ・会員に魅力ある多彩な活動プログラムの展開 ・多様な活動に対応可能な指導者の確保 ・地域の認知度を高め既存団体等との連携の強化 ・クラブ間の交流事業の開催などによる情報交換 等	646,284	教育委員会 地域スポーツ活動室 (⑩スポーツ振興課)
こころ豊かな子どもを育むまちづくり応援事業	心身共に健全な児童を地域ぐるみで見守り育てていくため、子どもの良いところをほめて、のびのび育てていこうとする運動(子どもをほめる運動)を地域の中で推進する。 大人である地域住民が、学校と連携して、子どもを見守り、その子の優れた個性や能力、社会性を発見し、地域全体でほめる(表彰する)ことにより、子どもと大人が心豊かになる地域ぐるみの青少年の健全育成をめざす。	・4月・5月 東播磨管内小学校長会で事業説明及び協力依頼 東播磨管内PTA会で事業説明及び協力依頼 ・6月～3月 管内校区で事業実施 明石市松が丘校区(継続) 明石市花園校区 加古川市志方東校区 高砂市米田西校区 高砂市曾根校区 稲美町加古校区 ・7月 事例検証会(地域で子どもをほめて育てよう推進フォーラム)の実施 実施日:7月8日(土) 会場:高砂市福祉保健センター中ホール 内容:講演「地域で子どもをほめて育てよう」他	・応援事業への支援 実施地域の拡大をめざす。(特に未実施である播磨町での実施をめざす。) ・「東播磨子ほめネットワーク会議」の実施 実施地域実行委員会の情報交換の場として開催する。	1,887	東播磨県民局 県民生活部地域活動推進担当 参事

■活動にかかわったことのない地域に潜在する人材の多彩な地域づくり活動への参画・協働を促します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
県民交流広場事業の展開(再掲)		—			県民政策部 生活創造課、各県民局
「若者ゆうゆう広場」事業の拡充	家庭や学校以外で、多様な若者を受けとめるための「居場所」づくりを進めるNPO等に対し、事業費を助成する(助成金額1件あたり25万円以内)。 事業の実施にあたっては、青少年育成会議を主催するなど青少年関係団体とネットワークのある財団法人兵庫県青少年本部に委託し、同財団が企画の募集及び選考、事業採択、広報・情報提供、報告会の開催等を行う。	・広場の開設 40カ所 (各県民局3カ所) 参加人数:131,286人 ・ユースサポーター養成研修2カ所 ・ネットワーク化 ・「若者の居場所づくり推進員」の設置 1名	平成20年度までに全市町で開設することを目指して毎年10カ所ずつ拡充するとともに、若者の話し相手となるボランティアであるユースサポーターの養成等人材の育成に努める。 また、地域の中で若者ゆうゆう広場の活動が定着し、主体的な取り組みとして輪が広がっていくよう、県民局・地方青少年本部を核とした地域内のネットワーク化を進めていく。	10,770	県民政策部 青少年課

ボランティアグループ活動助成(ひょうごボランティア基金助成)	ボランティアグループ・団体によるNPO法17分野のボランティア活動に助成し、安定的・継続的な活動を支えるとともに、活動のすそ野拡大を図る。 ・上限3万円	・助成実績 2,833件 (84,990千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	84,990	県民政策部 参画協働課
ボランティア活動トライやる事業	ボランティア活動への意欲を持ちながら、実践に踏み出せていない①退職者・退職予定者等のシニア世代②出産・育児で退職した女性③学生・フリーター等の若者など、地域に潜在する人材に対して、県内各地域のNPO・ボランティアグループにおける活動体験の機会を提供することを通じて、ボランティア活動の新たな担い手づくりを図る。	・参加者51名 ・シニア 7名 ・主婦 19名 ・学生等 4名 ・会社員等 9名 ・その他 12名 ・受入NPO・ボランティアグループ38団体 ・事業実施のノウハウを「ボランティア活動トライやる実施マニュアル」としてまとめ、地域別・分野別の支援機関や中間支援NPO等への普及に活用	・本年度培ったノウハウをベースに、県内各地域のNPO等と協働し、NPO等ならではのアイデアを付加した体験メニューを団塊世代等の県民に提供する「団塊世代等地域づくり活動きっかけづくり支援事業」を展開する。	1,200	県民政策部 参画協働課
「地域見本市“地域ってこんなところよ、お父さん！”～知ろう、創ろう我がまちの魅力～」の開催	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			2,380	阪神北県民局企画調整部企画調整・市町担当参事
ひろっば☆お父ちゃんクラブ事業の実施	まちの子育てひろばへの父親の参加はごく稀な状況となっているため、母親同様に育児の重要な役割を果たすべき父親の参加を促進し、家庭における父親の一層の育児参加を図る。 まちの子育てひろば等が実施する創意工夫を凝らした父親参加型事業で、家庭での家事参加や育児参加などを促進する事業に対し助成を行う。	・事業の募集 6月1日～6月20日 ・審査会を開催し助成団体を決定 開催日 7月10日 ・5団体事業実施 参加人数 441人 (内父親の数 58人) ・実績報告	・より一層のまちの子育てひろばの活性化と父親の参加を図るため、事業を継続する。	410	丹波県民局 県民生活部 柏原健康福祉事務所

■企業・事業者、団体、大学等が、特性や専門性を生かして地域づくり活動に取り組めるよう、情報集約の場(プラットフォーム)や、多様な主体との交流・連携の機会づくりなどに取り組めます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ボランティア活動資源マッチングシステムの構築・運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域づくり活動登録制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動メッセ(ひょうごボランティア・スクエア21)(再掲)		—			県民政策部 参画協働課

企業・NPO協働奨励事業(ひょうごボランティア基金助成)	地域の課題解決や活性化に向けた企業とNPOの協働事業について先駆的事例を奨励する。 ・奨励金 30～50万円 ・協働事例の発表	・助成実績 600千円(2件) ・県内NPO・ボランティアグループ等が集う「ひょうごボランティア・スクエア21」で発表	・制度の周知及び県民・企業ニーズや協働事例の把握に努め、制度の活用及びノウハウ普及を一層促進する。	600,000	県民政策部 参画協働課
------------------------------	---	--	---	---------	----------------

## □実践活動につながる学習機会を充実します

■学びたいことを主体的に選択できる学習機会を提供するとともに、地域づくり活動に必要な知識を系統的に学べるよう、学習資源のネットワーク化を進めます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
生涯学習支援ネットワーク推進事業	第5期生涯学習審議会の提言(H15.7「兵庫県における包括的な生涯学習システム」)を具体化するため、生涯学習システムづくりを推進する仕組みとなる生涯学習支援ネットワークを進める。	・生涯学習支援ネットワーク交流会議の開催 150名 ・生涯学習支援者養成研修会の開催 3回 延べ111名	・生涯学習機関のさらなるネットワーク化と連携強化	(プラザ運営経費内)	県民政策部 生活創造課
生涯学習情報プラザの運営(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
生活創造活動プランナー養成講座の開設	新しい文化や地域コミュニティづくりなどの生活創造活動につながる実践力や企画力を身につけた地域のキーパーソン(プランナー)を養成することをめざした講座を開設する。	プランナー養成のための講座の開催 ・県下3地区 ・受講者:42名	・生活創造大学と統合して実施	2,187	県民政策部 生活創造課
地域創造市民塾の展開	生活創造センターや文化会館等、地域の生活創造活動・生涯学習の拠点において、豊かな地域の創造等に係るテーマで、県民自らが企画し、運営する講座の開設を支援する。	・全講座数:158講座 ・受講者:7,920人 ・支援内容: 講師団の派遣、開設場所の提供等	・講座運営方法の改善	3,162	県民政策部 生活創造課
生活創造大学の開設	県民のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の更なる向上と、新しいライフスタイルの創造を支援するため、生活創造活動につながる多様な学習機会を提供する。	実施箇所 12カ所 受講者数 1,134名	・講座を修了した方が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するための支援策の検討	7,876	県民政策部 生活創造課
地域高齢者大学の運営	地域活動の実践者を養成するための学習機会の提供を行い、高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するため、地域4年制高齢者大学を運営する。	実施箇所 5カ所 受講者数 1,282名	・大学を修了した高齢者が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するためのプログラムの検討	6,549	県民政策部 生活創造課
いなみ野学園の運営	地域活動の指導者や実践者を養成するための学習機会の提供を行い、高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するため、いなみ野学園を運営する。	・大学院講座 受講者:109人 ・地域活動指導者養成講座 受講者:242人 ・4年制大学講座 受講者:1,818人 ・放送大学講座 受講者:3,282人	・大学(院)を修了した高齢者が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するための支援策の検討	87,822	県民政策部 生活創造課

阪神シニアカレッジの運営	地域活動の実践者を養成するための学習機会の提供を行い、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するため、阪神シニアカレッジを運営する。	・4年制大学講座 受講者数:596人	・大学を修了した高齢者が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するためのプログラムの検討	53,803	県民政策部 生活創造課
高齢者大学地域活動実践講座の開設	4年制高齢者大学での学びの成果を社会参加活動につなげることを目的に高齢者大学に「地域活動実践講座(2年制)」を開設する。	・実施個所:6カ所 ・受講者:235人	・講座を修了した高齢者の地域づくりなどに参画するためのプログラムの検討	8,444	県民政策部 生活創造課
ひょうご人づくりセミナー	青少年育成県民運動の推進の中核である兵庫県青少年本部において、家庭教育に関する幅広い分野の専門家を登録し、自主的に活動する子育てグループの要請に応じて派遣し、若い父親・母親の子育てを支援する。事業を通して地域ぐるみで子育てに取り組んでいく機運の醸成や実践活動の展開を促進する。	・人づくりセミナーの開催 講師派遣50回	青少年の心の問題や子育て支援に総合的に取り組むため、ひきこもり等青少年の心の問題を扱う「ひょうごユースケアネット」事業と一体化し、発展的に廃止する。	6,000 (人づくりセミナー3,000+ユースケアネット3,000)	県民政策部 青少年課
ひょうご県民交流の船	県民が希望に満ちた船内生活や活気あふれる団体生活を通して、相互理解と自己啓発に努める場とする。	・青少年、県民が事業に参加し、国際交流活動等を実施 ・企画運営に青少年が参画	より多世代の参加ができるよう、参加費用の軽減、及び船内活動や陸上活動についても、乗船後、県の他事業参画へつなげるような内容を検討	9,045	県民政策部 青少年課
兵庫県青年洋上大学	青少年が外国(中華人民共和国)を訪問し、現地の人々と交流することを通じて相互理解、友好親善を促進するとともに、青年リーダーの養成を図る。	・青少年、県民が事業に参加し、国際交流活動等を実施 ・企画運営に青少年が参画	ひょうご県民交流の船参加者との三世代交流や現地家庭・大学・企業との交流拡大、及び青少年の事業企画・運営への参画と、OB会(同窓会)活動の活性化方策の検討	36,096	県民政策部 青少年課
NPO大学事業の実施	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			946	県民政策部 参画協働課
男女協働アドバイザー養成塾・男女協働市民講師養成講座の開設	地域で男女共同参画を草の根的に推進するために、男女共同参画の視点を持った人材及び講座や学習会等で講師として活躍できる人材を養成する。	○アドバイザー養成塾 ・43名受講、うち34名修了 ○オープン市民講師 ・神戸で3日間の講座を実施 ・17名受講、うち12名講師登録	○アドバイザー養成塾 ・地域、職場、学校、家庭などあらゆる場で男女共同参画を推進 ○オープン市民講師 ・市町等と協働し、市民講師の活動の場を拡大	1,177	県民政策部 男女家庭課

兵庫県立大学 生涯学習交流センター事業	大学固有の専門的教育資源の活用に関し、社会人の生涯教育や高度な教養教育等、県民の多様な生涯学習ニーズにこたえるため、その企画立案、学内の総合調整及びその推進を担う組織として「生涯学習交流センター」を設置し、大学の教育機能を幅広く県民に開放し地域に貢献する。	・公開講座の実施(4講座、受講者100名) ・特別公開講座(2講座、71名) ・国際セミナー(1講座、141名) ・社会人プロフェッショナルコース(1講座、21名) ・アカデミック・ツーリズム・プログラム(1講座、21名) ・知の創造シリーズフォーラム(2講座、695名)	ニーズを把握し魅力あるテーマを設定することにより、さらなる県民の生涯学習の充実に寄与する。PR活動や講座の開催日の検討等を推し進めていく。	4,431	企画管理部 大学課
県立広域防災センターの運営	防災に関する体系的かつ実践的な研修、防災意識の普及啓発、消防職員及び消防団員の教育訓練等を行うことにより、県民の参画と協働による災害に強い安全で安心な地域づくりを支援するとともに、災害時における広域的な救助の拠点としての機能を果たすため、兵庫県立広域防災センターを整備する。	・センター視察者数 35,297人 ・体験型学習(消火器取扱体験、地震体験、火災発生体験等)参加者数 77,368人 ・防災リーダー講座受講者119人	地域の防災力を高めるための人材育成が課題であり、県民の参画と協働による災害に強い安全で安心な地域づくりを支援するため引き続き研修等を実施する。 ・防災に関する体系的かつ実践的な研修 ・防災意識の普及啓発	214,314	企画管理部 災害対策課、消防課
「ユニバーサル社会づくり」実践出前講座の実施	県民が地域や職場で、ユニバーサル社会づくりの考え方を理解するための学習の場づくりを支援するため、ユニバーサル社会づくりリーダー養成講座修了者のほか、ユニバーサル社会づくりの推進に専門的な知見を有する人材を登録・派遣して出前講座を行う。	・講座実施回数:127回	・障害者による講話制度の創設	504	健康生活部 ユニバーサル課
「ユニバーサル社会づくり」地域実践活動セミナー開催事業	ユニバーサル社会づくりの理念の総合的・体系的な啓発と普及を図るため、「ひと」「もの」「情報」「まち」「参加」の各分野におけるユニバーサル社会づくりの進め方や具体的な実践活動に関する提案を行うセミナーを県民局ごとに開催する。	・各県民局で1回開催(合計10回開催) ・総参加者数:1,919人	・具体的実践活動の検討提案	2,250	健康生活部 ユニバーサル課
家庭と地域の子育てカアップ事業の推進	県立こどもの館において、「子育て・親育て事業」として親子でしつけとマナーを身につける体験講座や親子ふれあい体験を県内各地で開催するとともに、子どもを生き育てやすい環境づくりに向けた子育てや子育て支援を県民同士が考え、議論するワークショップを開催する。	子育て・親育て事業(しつけとマナー体験講座、親子ふれあい体験)の実施 ・89回開催 ・参加者延べ4,849人 ワークショップの開催 ・参加者97人	ワークショップでは、子どもを生き育てやすい環境をつくるため、子育てや子育て支援について県民一人ひとりが考え、行動する機会を提供し、少子化に歯止めをかけるための具体的かつ積極的な事業を実施する。	3,477	健康生活部 少子対策課
エコツーリズムバス運行支援事業	県民に環境関連施設での学習機会や貴重な自然環境等に触れる機会を提供するため、バスを利用し、環境学習・体験を行う団体・グループに対し、借り上げバスに要する費用の一部を助成する。	・県民自らが学ぶ機会の創出 ・子供会、婦人会、自治会、環境NPO、県内の小・中学生などの団体及びグループを対象として、バス借上費用の1/2以内を助成(336台)	・民間の環境学習施設等の情報提供 ・自然観察指導員等の協力によるガイドの実施 ・アンケートを通じた県民ニーズの把握 ・これまでに利用のない新たな団体等の利用拡大	13,527	健康生活部 環境学習課

ひょうごの環境学習・教育の総合的推進	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			22,554	健康生活部 環境学習課
青少年科学技術体験学習支援事業	兵庫県科学技術会議からの提言を踏まえ、企業や研究機関、大学等を科学技術学習の場として活用し、青少年を対象に当該施設を活用した体験学習等を実施する。	高校生を対象とした科学技術体験学習の実施 ・実施数 8回 〔 半日・1日・・・6回 1泊2日・・・2回	・科学技術体験学習の県内全域での実施	1,000	産業労働部 科学振興課
県土を学ぼう！キッズプロジェクトの推進	学校教育における「総合的な学習の時間」等を活用し、自分たちの住む町の河川、道路、港湾などの社会基盤がどのように日常の生活に役立っているかを体験しながら理解・学習し、次代の社会基盤のあり方を考え、ひいては「地域を思いやる気持ち」を育むことをねらいとして、「県土を学ぼう！キッズプロジェクト」を実施する。	・モデル校を設けての実践 (9校) ・年次発表会の開催 (参加者733名)	・平成19年度からは、「ひょうごの環境学習・教育」の一環として、河川、道路、港湾等の役割を学んでもらう社会基盤学習に衣替えし、引き続き活動	10,000	県土整備部 技術企画課、各県民局
いきいき仕事塾の開設	被災地域に住む、または住んでいた55歳以上の方々を対象に、被災各地域において、生きがいづくりや仲間づくりにつながる知識等を習得するための各種講座を開設する。	各種講座の開設 ・いきいき仕事塾受講者：480人 ・過去の講座修了生のネットワーク化、会員503人	・高齢者がボランティアをはじめとする自主的な活動を行い、積極的に社会参加していけるような意識の醸成ときっかけづくり	10,004	県土整備部 復興支援課
高等学校地域オープン講座の開設	各高等学校で開設する「学校設定教科・科目」等のうち、学校の特色となる講座、地域に根ざし地域住民に関心の高い講座について、地域住民の参加を呼びかけ、高校生とともに学ぶ場を提供し、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、高校生が地域の人たちと学習活動を通じて触れ合うことで、生涯にわたって学び続ける力を育成する。	・ユニット講座(通年にわたり、学校の時程表に合わせて週2時間程度ともに学ぶ) 実施校数10校 ・ユニーク講座(短期間において、特に学校が公開する授業についてともに学ぶ) 実施校数12校  ・18年度からユニット講座で、デジタル画像処理入門、ユニーク講座では、油彩画基礎演習やマクロ機能・VBAを学ぼうなどを開設し、より魅力ある講座の開設に努めた。	魅力ある講座の開設に努め、地域住民の受け入れを促進	582	教育委員会 高校教育課
コミュニティカレッジの開設	高等学校等の施設を県民に開放し、社会人としての幅広い教養を高めるための講座等を開設する。	・講座開設 29講座 ・開催地 県内29校(県立17校・市立4校・私立8校) ・参加者数 825人	・多様化・高度化する県民の学習ニーズに対応した講座を開設し、地域住民の受け入れを促進 ・平成18年度をもって事業終了	1,085	教育委員会 社会教育課
歴史文化遺産活性化事業の実施	歴史遺産を生かしたまちづくりの推進のため、ヘリテージマネージャーを養成するとともに、ヘリテージマネージャーとの協働による近代化遺産(建造物等)総合調査を実施する。	・養成講習会(建造物部門)及び上級講座を開催 受講生78名 ・養成講習会(美術工芸品)を開催 受講生19名	・建造物・美術工芸品以外の分野への拡大 ・建造物分野において、修了者を対象とした専門的・実務的な講習会を継続して開催	810	教育委員会 文化財室

県立考古博物館(仮称)先行ソフト事業の実施	平成19年秋の開館を目指し、遺跡と出土品を素材とした新しいスタイルの参加体験型博物館として、加古郡播磨町の播磨大中国古代の村隣接地に「県立考古博物館(仮称)」を整備する。整備にあたっては、体験学習や発掘調査など博物館の事業を、県民との協働により推進する。	・県民と協働で体験学習プログラムを開発 ・地域文化財展・先行展の運営に県民が参加 ・播磨大中国古代の村入場者数 116,491人 ・考古楽者養成事業受講者数 25人 ・考古博物館先行展入場者数 36,567人 ・地域文化財展入場者数 3,610人 ・建築工事・展示工事 ・大中遺跡環境整備工事	・ネットワーク型博物館として県下全域で活動するために、各地域と連携した人材育成を進める。	3,284,720	教育委員会 考古博物館 開設準備室 (19文化財室)
みんなで守り育てる神戸の森づくり・川づくり(再掲)	—	—	—	—	神戸県民局 企画県民部 健康福祉・ 環境担当参事
「親たちのための小児救急医療講座」の開設	1次救急、特に小児救急の場合、電話相談で対応できる軽症患者が圧倒的に多く、子どもの急病に関する医療知識の不足による不安やとまどいをもつ保護者の増加に対処していくため、育児中の親を対象とした小児救急医療に関する基礎的知識を学ぶために開催する。	育児中の親を対象とした小児救急医療に関する基礎的知識を学ぶ「親たちのための小児救急講座」の開催 場所:西宮市瓦木公民館 参加者:84人	効果的な講座を開催するため、できるだけ多くの育児中の親が集まるイベント等を利用して開催する。(3カ年計画:平成18~20年度)	300	阪神南県民局 県民生活部 芦屋健康福祉事務所
子どもを守る情報安全教育推進事業の推進	インターネット、携帯電話を巡る事件が多発していることから、子どもたちが事件の被害者や加害者とならないように、保護者をはじめとする大人がこれらの影の部分より深く知ることにより、青少年への正しい育成や指導を行えるようにする。	・大人の勉強会等への助成(9団体406千円) ・携帯電話の利用に関するアンケート調査の実施(管内小学5年生・保護者各約3,000人) ・啓発冊子の作成(配付先:管内全公立小学校6年生の保護者(約10,000人)等) ・地域で指導できるインストラクターの養成(21人) ・親子学習会の開催(生徒・保護者 計204人)	・県民自らが学び、自発的に取り組めるような環境のさらなる整備(勉強会への助成、啓発冊子の増刷、インストラクター養成、アンケート結果を生かした啓発)	3,893	阪神南県民局 県民生活部 県民担当参事
体験・交流型環境学習の実施	尼崎港に設置されている環境修復実証実験施設を活用し、潮干狩り、ワカメ栽培などを体験することによる環境学習を行う。	・(財)国際エメックスセンターに委託 ・3回実施 参加者計 69名	事業の継続とともに阪神南県民局管内各市での種々の体験・交流型環境学習機会の提供を行う。	512	阪神南県民局 県民生活部 環境担当参事
森・川・海体験・交流型環境学習の推進	管内三市それぞれの森・川・海のフィールドにおいて、自然と触れ合う体験・自然交流によって環境学習を行う。	・芦屋川に魚を増やそう会、西宮子ども環境活動支援協会、自然と文化の森協会に委託 ・のべ16回実施 のべ参加者900人余り	事業の継続とともに阪神南県民局管内各市での種々の体験・交流型環境学習機会の提供を行う。	750	阪神南県民局 県民生活部 環境担当参事
都市農業等強化促進事業	食生活の安全、安心への関心が高まる中、都市部において、消費者と生産者の交流及び地場産農作物をアピールするため、「地産地消ミニフェア」等を開催する。また、木材の地産地消を推進するため、木材産地見学会等を実施する。	・「地産地消ミニフェア」を2回開催(約4,500人参加) ・県産木材モデル住宅産地見学会を実施(約70人参加)	引き続き「地産地消ミニフェア」を回数を増やして実施し、地場産野菜のPRをしていくとともに、県産木材の現地見学会も継続していく。	896	阪神南県民局 地域振興部 産業労働担当参事

都市住民の森づくりへの参画促進事業	日頃、森林や林業に触れる機会の少ない都市部の住民に対して、森のインストラクター等が森林や林業に関する啓発を行い、理解を深め、関心を高めることで、都市住民の森づくりへの参画への機運を高める。	管内の小学校で、森のインストラクター等が講師となって、森林や林業について、体感、体験する「森の出前授業」を4回実施(約340人参加)	引き続き森の出前授業やイベントでの森林教室を実施し、日頃森に触れる機会の少ない都市部の子どもたちへ森についての理解と関心を高める。	424	阪神南泉民局 地域振興部産業労働担当参事
都市近郊の豊かな自然を活用した環境学習の推進	環境問題の現況、解決に向けた取り組みへの理解を深め、さらにその実践方法等を取得し、阪神北地域において活動の実践ができる人材を育成するため、阪神北地域の環境資源(フィールド、学習施設、人材等)を活用した講座を開催する。	1 地域の環境資源を活用した講座の開催 (1) 開催講座数:3 (2) 参加者:延べ228人 2 こどもエコ探検隊の結成 (1) 結成数:5チーム (2) 参加者:延べ462人 3 大学生向けの講座 (1) 参加者:21人	・参画と協働による住民の環境保全への取り組みを促すためには、環境保全活動について学び、活動に参加するためのきっかけづくりを行っていく必要がある。 ・このため、住民を対象にした環境学習講座を継続して開催するとともに、新たに、こどもを対象にした「こどもエコ探検隊」の結成による環境学習の実施、大学生を対象にした実践型の講座を開催する。	3,543	阪神北泉民局 県民生活部環境担当参事
東はりまっ子森林体験学習事業	小学生の親子(緑の少年団を含む)を対象に、ひょうご森のインストラクターの指導のもと、森林の役割やそのはたらきを学習させるため、森林観察会及び木工教室を開催する。	4月29日のみどりの日に木工教室(150名参加)を実施した。このほか、10月29日のひょうご森の日に里山植物観察会とボランティア体験活動として「ひょうご森の日の森づくり計画」を150名の参加を得て実施した。	里山で行うイベントの企画については、協力いただける地元地域住民やボランティア団体とともに立案し、実施する。	355 (新ひょうご森づくり推進費)	東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所
こども向け環境学習(水辺の教室等)の推進	感性豊かな子どもの時期に、環境に対する関心を深め、環境を大切にす豊かな心を育むため、関係機関と連携し子ども向け環境学習を推進する。	・水辺の教室の開催 開催数:7回 参加人数:179人 ・海辺の教室の開催 開催数:1回 参加人数:29人 ・親子の環境探検隊 開催数:2回 参加人数:100人 ・ホタルの飼育及び幼虫の放流事業 参加小学校:8校 ・環境発見マップ作成事業 参加小学校:5校 ・指導者講習会の開催 開催数:1回 受講者数:22人 ・こども環境会議の開催 開催数:1回 参加人数:約300人 事例発表小学校 4校	・教育委員会等関係機関及びNPOとの連携	1,096	中播磨県民局 県民生活部環境担当参事

<p>高校生のチャレンジショップ支援</p>	<p>管内の高校生を対象に職業への意識を高めるために管内の商業施設の空きスペースを利用した高校生のグループ単位によるショップをオープンする。ショップの内容の考案、企画書の作成、商品の仕入れ、店舗のレイアウト、運営、決算など高校生自らで取り組むことによって、仕事の面白さ難しさなどを体験させる。</p>	<p>平成18年8月17日～22日に高校生グループが山陽百貨店前でチャレンジショップを運営。 ・参加人数:10グループ、51人</p>	<p>3年間に於いて一定数の高校生の就労体験を支援できたことから、本事業は18年度限りとする。</p>	<p>1,898</p>	<p>中播磨県民局 地域振興部産業労働担当 参事</p>
<p>ホテルの郷づくりのための環境行動学習の展開</p>	<p>“ホテル”を基軸として、自然を体験し、発見し、学び、実践しながらホテル復活作戦に取り組むなど「ホテルの郷“西播磨”環境学習プログラム」を展開し、「ホテルを育む、こころを育む、自然を育む、地域を育む」美しい西播磨(「光と水と緑でつながる元気・西播磨」)づくりを推進する。</p>	<p>・ホテルの郷環境学習プログラム推進員を新たに設置 ・佐用町金子集落において、自治会等の協力得てホテル養殖水槽を設置し、ホテルの幼虫を育て元の河川に放流(6月～3月) ・学校等5団体において、ホテルキットにより幼虫を飼育し、河川に放流(6月～3月) ・ホテルの郷景観写真コンテストの実施(6月～11月) ・西播磨の森・川・海探検隊の創設 本年度は森探検隊として、国見の森において子ども達を対象に実施(3月) ・ホテルツーリズムの実施(2回:1月、2月) 子どもたちによる三田市の「人と自然の博物館」での学習及び有馬富士公園におけるホテル飼育観察 ・西播磨エコプレーヤー塾の実施(8月～12月) エコプレーヤー養成のため、研修と実践をセットに1課程を組み、5課程シリーズで実施 ・環境フォーラム開催(2月)</p>	<p>・地域活動の中核となるリーダーの育成 ・住民の実践活動の拡大や交流の更なる促進 ・西播磨に住む人々が環境学習を通じて、環境意識に目覚め、行動する人(エコプレーヤー)になることを目指す。</p>	<p>6,133</p>	<p>西播磨県民局 県民生活部環境担当 参事</p>
<p>西播磨さわやかな環境づくり啓発・交流事業</p>	<p>「新西播磨さわやかな環境づくり地域行動計画」の実現に向け、環境づくり推進員を設置し、地域リーダー研修会や環境ミニフォーラムの開催、エコニュースの発行等を行い、環境に配慮したライフスタイルの変換などを目指した住民の実践活動や交流の促進等を図る。</p>	<p>・庁舎からの情報発信 太陽光発電システム、環境情報コーナーの案内等 環境情報紙「西播磨ECO NEWS」の発行 年4回、500部 ・地域リーダー研修会の開催 年1回(5月) ・ミニフォーラムの開催 年7回(10月～3月) ・環境学習の支援・イベントへの参加 水生生物調査3回 出前講座 年3回</p>	<p>・地域活動の中核となるリーダーの育成 ・住民の実践活動の拡大や交流の更なる促進</p>	<p>—</p>	<p>西播磨県民局 県民生活部環境担当 参事</p>
<p>総合研修事業</p>	<p>但馬における地域ケアの充実を図るため、地域ケアにかかわる専門人材に対して、知識・技術の提供や共通課題の解決に資する研修を実施する。 さらに、小中高中生やボランティアの共生意識の醸成を図るための研修を実施する。</p>	<p>・地域ケアスタッフ 専門研修 74回(1,253人) ・キャップハンディ教室 44回(1,193人) ・地区別住宅改修連絡会 3回(86人) ・その他 6回(231人)</p>	<p>・各研修事業の継続実施と充実 ・専門職の研修機会の提供により資質の向上を図る。 ・福祉に関する意識の浸透と参画と協働の意識の醸成</p>	<p>2,934</p>	<p>但馬県民局 但馬長寿の郷地域ケア課</p>

口から始まる健康づくり～口腔ケアで肺炎予防～(在宅高齢者編)	在宅高齢者に口腔ケアを行うことで、食べる楽しみ・飲み込む機能を保持し、誤嚥性肺炎を減少させていく。	(1)口腔ケア指導者講習会の開催 74人参加 (2)口腔ケアモデル指導実施 5デイサービス施設で112名に実施 (3)実用型口腔ケアマニュアル「発声練習カード」の作成 150組 (4)口の体操ビデオ追加作成 2種類各100本増産	19年度以降は市、歯科医師会が主体となり地域での推進を図る。	747	丹波県民局 県民生活部 柏原健康福祉事務所
口から始まる健康づくり～わんぱくっ子のむしばゼロ作戦～(幼児・学童編)	丹波地域でむし歯がある子どもの割合は、どの年代も県平均より高い状況である。特に永久歯に生え替わる時期の子どものむし歯予防を重点的に取り組むとこで、むし歯がある子どもの割合を減少させる。	(1)歯科保健指導者講習会の開催 50人参加 (2)ぶくぶくフッ素うがいモデル実施 2保育所 (3)リーフレットの作成 5,000部	・各団体等の具体的な意見の把握及び実施方法の協議 ・全保育所での実施や幼稚園・小学校への拡大に向けた市・市教委サイドでの将来的な推進が課題	389	丹波県民局 県民生活部 柏原健康福祉事務所

■地域の活動団体、NPO/NGOなどと連携を図り、実践活動に取り組みながら知識・技能を学び、多様な場面で応用できる力を養成する学習メニューなど、目的に応じた学習機会を提供します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクトの推進(再掲)		—			東播磨県民局 企画調整部水辺の地域づくり担当参事

■学んだことを生かして活動に取り組むためのしくみを検討します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
生涯学習リーダーバンクの設置	自らの学習によって得た知識や技能を生かして、学習グループ等の活動を支援することを希望する者を公募し、登録する「生涯学習リーダーバンク」を設置・運営する。	リーダーバンク登録者が学習の成果をボランティア指導者として社会に還元	新規登録者の確保によるバンクの充実	—	県民政策部 生活創造課
男女協働アドバイザー養成塾・男女協働市民講師養成講座の開設(再掲)		—			県民政策部 男女家庭課
森・川・海をフィールドにした体験・交流型環境学習の推進	失われた自然や健全な水循環、人と自然のつながりの再生・回復を目指し、県沿岸域で大規模開発が始まる以前の1950年前後の環境を回復することを目標に、流域ごとの取り組みを進める。	・森・川・海交流フォーラムの開催 102名参加 ・水生生物調査指導者技術講習会の開催 81名受講	・森・川・海再生について、情報を共有し、今後の各流域等での取り組みの推進を図るため、先進的取り組み団体の事例紹介等を行う。	416	健康生活部 水質課 (水生生物調査指導者技術講習会のみ環境学習課)
ひょうごの環境学習・教育の総合的推進(再掲)		—			健康生活部 環境学習課

ひょうご・しごと情報 広場	<p>職業に関するワンストップサービスセンターとして、求職者や事業主等に、就職支援及び職業能力開発の相談、情報提供等を実施。</p> <p>(就職活動実践プログラム) 就職活動実践プログラムを受講する求職者に対し、仕事を通じて培われてきた自分の労働市場価値を最大限生かした合理的・実践的な就職支援技法の提供・学習の充実を図る。</p> <p>(若者しごと倶楽部) 若年失業者(不安定就労者含む)及び学生、Uターン希望者の就職支援を実施。</p>	<p>就職活動実践プログラムの受講者 214人</p> <p>・利用者サービス件数:22,271人 ・就職者数:939人</p>	<p>多様なニーズと、実践での活用を重視し、求職者に加え、就職者の意見を採り入れた内容へと改善を行う。</p> <p>・サテライト施設や国・市町施設、NPOや地域社会との連携、ネットワークの構築</p>	110,263	産業労働部 しごと支援課
ひょうご・しごと情報 広場における職業能力 開発支援	<p>キャリアアップに必要な職業能力の習得方法等の紹介をはじめ、企業へ専門コンサルタントを派遣し、職業能力開発に関する技法を紹介するなど各種相談事業を実施する。</p>	<p>各種支援事業の実施 ・相談受付件数：453件 ・個人向けセミナー延べ受講者：194人 ・専門コンサルタント派遣：20回 ・企業向けセミナー受講者：168人</p>	<p>・求職側と求人側のニーズを踏まえた、より効果的な職業能力開発の推進</p>	39,708 (上段の事業費の内数)	産業労働部 能力開発課
加古川流域交流 フォーラムの開催	<p>加古川流域の上、中、下流域が一体となった森・川・海の再生を図るため、流域住民・活動団体の機運の醸成と交流の促進を目的に開催する。</p>	<p>平成18年12月16日小野市うるおい交流館で3県民局(北播磨、東播磨、丹波)主催で開催、参加人数 220名</p>	<p>新たな事業となったひょうごグリーンスクール事業、ひょうごグリーンガーデン事業にも、事例発表の機会を提供する場としてフォーラムを活用する。</p>	800	北播磨県民局 県民生活部環境担当 参事
ホテルの郷づくりの ための環境行動学習の 展開(再掲)		-			西播磨県民局 県民生活部環境担当 参事
熟年講座「丹波黒大豆 カレッジ」による栽培 管理技術伝承事業	<p>2007年以降団塊の世代の退職期を向かえ、退職帰農者等に対して、丹波黒大豆の栽培技術を伝承するため、実践活動につながる学習機会を提供する。</p>	<p>毎月1回、年間12回の講座を開設し、講義、栽培実習、現地視察研修などの研修機会を設けた。受講生34名</p>	<p>黒豆栽培の担い手育成は、今後も継続的に取り組む必要がある。平成19年度には、新たなメンバーを募集し、黒豆栽培の担い手を育成していく。</p>	400	丹波県民局 地域振興部 柏原農林振興事務所

## ②活動を高め、支える

□主体的、継続的な活動につながるような支援を行います

■地域リーダーなどの担い手やコーディネーターの育成、創意工夫を生かした活動への助成などの支援に取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
生涯学習情報プラザの運営(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
地域づくり活動サポーターの設置(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
情報交流を通じたコミュニティの活性化の推進	情報通信を活用した県民主体の地域づくりの促進を図るため、情報通信の先進的な活用に取り組む地域情報化サポーターの活動を情報交流会の開催等により支援し、情報交流を通じたコミュニティの活性化を推進する。	地域情報化サポーターミーティングの開催(県内6カ所、参加者:251人)	SNSや動画発信などインターネット等をうまく活用している団体や地域づくり活動団体同士の情報交換などの交流を促進	1,500	企画管理部 情報政策課
大学洋上セミナーの実施	兵庫県の4年制大学生が洋上で単位の取得できる講義を受け、共同生活を体験しながら訪問諸国との交流を深めることを通して、日本とかわりの深いアジア・太平洋地域の理解促進、大学間の連携、大学の枠を越えた学生交流の充実、学生の国際性の涵養等を図る。	・大学洋上セミナーひょうご2006の実施(隔年実施) 参加学生数434人	アンケート調査による学生参加者の意見をカリキュラムづくりに反映	170,045	企画管理部 大学課
「1.17防災未来賞」の創設	阪神・淡路大震災の経験を通して得た自然の脅威と生命の尊さや、共生の大切さを考える「防災教育」を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくるため、学生が学校や地域において主体的に取り組む「防災教育」に係る先進的な活動を顕彰する「1.17防災未来賞」(ぼうさい甲子園)を全国から公募する。	・平成18年6月～9月末まで募集(応募件数120件) ・平成19年1月7日 表彰式開催 審査の結果、優秀な取り組みについて知事表彰及び事例発表を実施 グランプリ 1件 ぼうさい大賞 2件 優秀賞 5件 奨励賞 9件	参画と協働による安全で安心な社会づくりに向けた学生の取り組みを支援	ひょうご震災記念21世紀研究機構で予算計上	企画管理部 防災企画局 企画課
ひょうご防災カレッジの開催	阪神・淡路大震災において、地域防災力の強化の必要性が改めて認識されたこと、土砂災害対策等地域密着型の防災体制の必要性が高まっていることから、地域のマンパワーを結集した防災体制を構築するため研修を実施する。	・共通研修 県下10地域で開催 総参加人数2,131人 ・専門講座 休止中	・過去開催時のアンケート結果を踏まえ、各県民局において、内容の見直し、参加者の多様化に取り組む。	870	企画管理部 防災計画課
防災協働社会を担う人材の育成	今世紀半ばまでに発生するといわれている東南海・南海地震などの地震や、近年数多く発生している台風や集中豪雨などの風水害等に的確に対応できるよう、自主防災組織のリーダーなど地域の防災の担い手が防災に関する体系的・実践的な知識・技術を習得し、地域の防災力を向上させることをねらいとして、「ひょうご防災リーダー講座」を開催する。	・ひょうご防災リーダー講座の受講者の募集、講座の開催 受講者数119名 ・「ひょうご防災リーダー」103名登録 ・ひょうご防災リーダーは、地域コミュニティや職場において実践活動を展開	・修了者の地域における活動充実が課題であり、まずは、情報提供のあり方について広域防災センターと検討していく。	1,385	企画管理部 防災計画課

いずみ会のリーダー養成と組織育成・活動支援	「健康は自らの手で守る」という理念に基づき、自主的に食生活を改善し、健康をより増進させるための実践活動を行っている「いずみ会」組織を育成指導し、食生活改善効果を高める。	・リーダー養成数:406人 ・食生活改善講習会:5,000回	事業の継続により、今後ともいずみ会の育成強化を図る。	3,200	健康生活部 健康増進課
障害のある方への声かけ運動推進事業	障害のある方が、地理不案内や電車・バスの乗り降り等で困っている時に、必要な手助けを積極的に行うよう呼びかける県民運動を展開する。	・声かけ運動推進員登録者数3,065人	・声かけ運動推進員による普及啓発活動の実施 ・声かけ運動推進員の実践活動の場の創出・拡大	3,908	健康生活部 ユニバーサル課
「ユニバーサル社会づくり」リーダー養成講座開設事業	ユニバーサル社会の実現に向けて、その理念を共有しつつ新しい取り組みを「はじめる」、協働して取り組みを「つなげる」、新しい取り組みを「ひろめる」、この3つの行動が地域や企業等で展開され、具体的実践活動の輪が広がるよう、理念の普及や実践活動の展開を先導する人材を養成する。	実施日数:7日 受講者数:60名	・事業のさらなるPR ・研修内容の充実	292	健康生活部 ユニバーサル課
ひょうごの環境学習・教育の総合的推進(再掲)		—			健康生活部 環境学習課
ひょうごCSRクラブの支援	地域の活動リーダーをはじめ県民が主体となって運営する「ひょうごCSRクラブ」を中核として、リーダー養成や各種団体・グループのネットワーク化を進め、成熟社会に対応したCSR(文化・スポーツ・レクリエーション)活動の県民への広がりを促進する。	CSRクラブ活動スタッフ(72名)、会員(270名+64団体)を中心に県民主体で事業を企画・実施 ・地域イベント28事業 参加者22,135名 ・活動リーダー養成研修、交流会の開催 3事業 参加者30名 ・HPの拡充及びクラブニュースの発行 等	・会員や活動スタッフの固定化・減少を防ぎ、団体の自立化を促進するため、イベントの開催やHP等を通じ、広く県民にCSR活動の周知の促進を図るとともに、自主的な活動展開を図るよう支援する。	7,300	産業労働部 労政福祉課
「食の健康運動リーダー」の活動支援	望ましい食生活の実現に向け、県民一人ひとりが「食」について関心を持ち、自ら考える習慣を身につける「食育」を推進するため、地域において「食育」の普及に自主的・主体的に取り組むボランティア(食の健康運動リーダー)を育成するとともに、ボランティアが保育所、幼稚園の園児とその保護者を対象に行う農業体験や調理体験等の実践活動へ支援を行う。	・食の健康運動リーダー登録数 2,135人 (リーダーの募集にあたっては、関係団体や農業グループ等の積極的な協力を得た) ・実践活動実施回数 798回 ・参加者数 38,700人	・農業体験と調理体験リーダーの連携による、農産物の生産から、収穫、調理まで一体的な体験の推進 ・都市部の園児のための体験活動ができる場所の確保 ・食育推進計画を踏まえたリーダーの活動促進、リーダーの資質向上	5,064	農林水産部 総合農政課、健康生活部健康ひょうご課 (⑩健康増進課)
コミュニティ・サポート支援事業	被災高齢者等への見守り体制の一層の充実を図るため、災害復興公営住宅等における住民相互の見守り活動グループの育成を支援する。	・コミュニティサポートグループの育成数:182グループ ・仲間づくり交流事業:215事業  (ひろばの実績 開設数:11 コミュニティ支援:122事業)	・引き続き高齢者自立支援ひろばの開設を進め、見守りグループの育成、フォローも高齢者自立支援ひろばにおいて継続的に実施していく。	25,670	県土整備部 復興支援課

高齢者自立支援ひろば設置事業	災害復興公営住宅等に常駐型の見守りや介護予防事業、交流事業等を実施する”ひろば”を設置し、地域主体の新しい高齢者自立支援システムの構築を図る。	・ひろば開設数:11カ所 ・ひろばでのコミュニティ支援事業:122 ・ひろばにおいて地域のボランティア等との連携により、高齢者の見守り、健康づくり、コミュニティづくりのサポート、支援者のプラットフォームなどの機能を提供	ひろばを順次新規開設していくこととし、ひろばにおいては地域ボランティアグループ等との連携を進めるとともに、高齢者の見守り活動、見守りグループの育成、フォローも継続的に実施していく。	19,983	県土整備部 復興支援課
生涯学習ボランティア活動総合推進事業の実施	博物館等におけるボランティア活動の拠点となる博物館ボランティアセンターを開設し、情報提供・相談を行うとともに、各種セミナーの実施など、ボランティアの養成を行う。	各社会教育施設において、ボランティアセンターを開設し、ボランティア希望者に情報提供や相談業務を実施した。 ・ボランティア登録者数 854人 ・ボランティア派遣・活動数 5,149人	ボランティアセンターを核とし、引き続き、ボランティア希望者にボランティアに関する情報提供や相談業務を実施するとともに、広報活動の推進により、活動の活性化を図る。	720	教育委員会 社会教育課
共生博物館地域研究員養成事業の実施	身近な自然を題材に地域の自然環境や成り立ちの再発見や再認識する機会を地域住民に提供するコーディネート的な役割を担う人材(共生博物館地域研究員)を養成する。また、研究員が中心となって地域における生物多様性保全の普及・啓発の拡大を図るとともに、人材育成及び人的ネットワークの構築・拡大をめざす。	・神戸及び阪神北地区で地域研究員ステップアップセミナーを実施(延べ742名参加) ・淡路地域では「淡路地学ゼミナール」を延べ6回開催。延べ参加者数は36名 ・但馬地域(朝来市山東町)では前年度のステップアップセミナー受講者のうち数名が中心になり、「川の生き物調査」、オオサンショウウオ調査」を実施。5回延べ20人が参加。 ・ひととはく地域研究員・連携グループによる活動報告会「共生のひろば」開催(2月11日に実施。発表テーマ34件、参加者数198名)。 ・成果として「共生のひろば」報告書作成・出版 ・現在までに累計63名の共生博物館地域研究員を養成。(平成19年3月時点)	・県下5カ所で、重点的キャラバンを実施し、その中で地域研究員の養成をはかる。(丹波・山南町、但馬・香美町、阪神北・川西市、阪神南・芦屋市、西播磨・佐用町ほか) ・今後は新たな人と自然の博物館に向けて、地域研究員および連携グループによるイベント等の実施、演示の手法などを検討していく。 ・地域研究員・連携グループによる活動報告会「共生のひろば」を平成20年2月に開催、報告書を平成20年3月出版予定。	959	教育委員会 社会教育課
歴史文化遺産活用活性化事業の実施(再掲)	—	—	—	—	教育委員会 文化財室
県立考古博物館(仮称)先行ソフト事業の実施(再掲)	—	—	—	—	教育委員会 考古博物館 開設準備室 (19文化財室)

人権文化創造活動支援事業の実施	「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」に基づき、体験をもとに人権課題の解決への力を養う講座や、新たな人権学習リーダーを養成する講座を開設する市町に対して、経費の一部を補助する。	・体験から学ぶ人権講座139講座 ・人権学習リーダー育成講座23講座	引き続き市町と地域住民が中心となった人権教育の取り組みの推進を支援	12,960	教育委員会 人権教育課
阪神南さわやか大気、地球温暖化防止の推進	地球温暖化防止活動の普及啓発活動を行う。	・地球温暖化防止フォーラム2006in尼崎において、地球温暖化防止をテーマとした人形劇の上演を、ひょうご環境創造協会に委託。 ・参加者195人	地球温暖化防止推進員等の支援等を行い、身近な活動の推進に移行する。	550	阪神南県民局 県民生活部環境担当参事
食のリーダー養成	幼稚園等における農業体験を指導するリーダーを委嘱し、農業体験に必要な資材等を提供する。	幼稚園等32園で農業体験を実施。リーダー98人	リーダーの資質向上を図り、事業効果を高める。	170	阪神北県民局地域振興部宝塚農林振興事務所
里山ふれあい森づくりの推進	集落周辺の里山林を、地域コミュニティや森林ボランティアによる森づくりの活動の場として活用するため、事業主体となる集落の自発的な企画提案をもとに、技術面の支援や資材費等の助成を行い、「参画」と「協働」による里山林の再生を図る。	加古川市志方町行常集落やその構成員が所有する里山林(約7ha)を集落の住民約40名と森林ボランティア(ひょうご森の倶楽部)が協力して遊歩道や竹林、雑木林約1.5ha整備した。	今後4年の間に未整備地について、集落の住民とボランティアが協働で本事業地を整備する予定。	3,500	東播磨県民局地域振興部加古川農林水産振興事務所
北はりま田園空間博物館交流推進事業の支援	北播磨地域における、都市と農山村との交流を通じた豊かな地域づくりのため、北はりま田園空間博物館を拠点として、地域情報の発信・地域案内人の育成を図り、行政と住民が連携し、北播磨地域が持つ様々な資源を生かして、都市住民との交流を図る北播磨交流の祭典を含む、住民の参画と協働による交流の舞台づくりを支援する。 事業の実施にあたっては、住民主導の運動として実施し、事業完了後も地域に根付いた運動とさせるため、現在、北播磨地域において、地域づくりの中核的組織であるNPO法人北はりま田園空間博物館に業務を委託する。	・HP、パンフレット等を利用した地域情報の発信 ・地域案内人養成講座の開催 4回、参加者139人 ・巡回講座の開催 15回、参加者542人	(人材の育成と活用) ・住民自らが風土・資源を再認識し、地域づくりの実践者としての意識を醸成するため、養成講座・巡回講座を実施 ・案内人の説明技術の向上と来訪者を案内するシステムの構築が必要 ・当地域づくりを北播磨全域に展開していくため、NPO北はりま田園空間博物館と他地域の市民団体との連携を推進する。	2,000	北播磨県民局地域振興部社土地改良事務所
“オータム・フェスタ2006 in テクノ”の開催	播磨科学公園都市のにぎわいづくりを目的に、地元特産品の展示即売会や、地域で活動を行っている団体の活動発表の場を設ける。	各種団体により構成された実行委員会による企画・運営	実行委員会の組織力の強化	1,354	西播磨県民局 県民生活部県民担当参事
たじまエコライフの創造に向けた体験・交流型環境学習の推進	多くの人々が豊かな自然のなかで遊び、学ぶ体験・交流型の各種プログラムを提供し、自然の大切さやふるさとの大切さ、自然環境保全意識の醸成を図り、人と自然の豊かなふれあいの回復をめざす(H17～H19年の3カ年事業)。	1 自然環境学習人材養成講座(修了生18名) 2 夏の子ども自然環境探検ツアー(参加者180名) 3 たじまエコフェスタ ・子ども、大人の環境会議(参加者150名) ・さわやか環境展(出展者11団体、参加者約5,000名) 4 環境学習実践活動事例集の作成(1,700部)	・環境活動の情報共有化及び環境ネットワーク化 ・環境学習施設と学習指導者など基盤の活用と整備	1,962	但馬県民局 県民生活部環境創造担当参事

■活動を自力で継続していくことを可能にする専門的知識やノウハウを習得する機会や場の提供、リーダーの育成を支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ふるさとひょうご創生塾の開設	地域づくり活動の第一線で活躍しているリーダーが、ふるさとづくりの理念や理論・技法などを専門的、体系的に学び、地域における課題発見能力や解決能力を高める場として開設する。	講座の開催 ・開催数:27回 ・受講者数: 9期生 34人 10期生 32人	・講座内容・運営方法の見直し ・卒業者と在塾生との交流	9,356	県民政策部 生活創造課
NPO大学事業の実施(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
インターン助成(ひょうごボランティア基金助成)	NPO法人等職員による国内外でのインターン活動(NPO法人等のマネジメント能力向上等を目的とする研修・調査等)に要する経費を助成し、NPO法人等の活動基盤強化を図る。 ①海外 上限30万円 ②国内 上限15万円	・助成実績 1件(300千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	300	県民政策部 参画協働課
まちづくり支援事業(再掲)		—			県土整備部 都市政策課

□既存施設を活用した身近な活動の場づくりを支援します

■県民一人ひとりが、地域を舞台に、さまざまな地域づくり活動に継続的に取り組むことができるよう、身近な活動拠点づくりを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
県民交流広場事業の展開(再掲)		—			県民政策部 生活創造課、各県民局
生活創造センター構想の推進(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
生涯学習情報プラザの運営(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局

ひょうごボランティアプラザの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
立ち上げ支援助成 (ひょうごボランティア 基金助成)	NPO法人等の活動拠点となる事務所の立ち上げに必要な経費を助成する。 ①インキュベーションスペース整備支援 ②公共の空きスペース活用支援 ③事務所家賃助成 ・上限30万円(1/2助成)	・助成実績 42件(5,106千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	5,106	県民政策部 参画協働課
ひょうご国際プラザの設置・運営	外国人の活動支援、日本人の国際理解、県民参加の中核施設としてひょうご国際プラザを運営する。	国際情報センター、外国人ビジターズセンター、日本語教育推進室、NGO活動支援室等の運営  ・国際情報センター利用者数 43,707人 ・日本語講座 開催数 11講座 受講者数 535人 ・NGO活動支援室利用団体数 127団体	・一層の広報による施設利用の推進	206,367	産業労働部 国際政策課
多自然居住交流拠点整備支援事業	多自然地域(自然豊かな農山漁村など)において、都市住民・地域住民・NPO等の団体が、都市と農村の交流を促進する場としての交流拠点施設を整備する場合に、県が市町とともに整備費の一部を助成する。	・南あわじ市の活動団体に対して、交流拠点施設整備を支援	・引き続き「多自然居住交流拠点整備事業」として都市住民・地域住民・NPO等へ助成	1,250	県土整備部 都市政策課
「快適空間」創造まちづくり活動支援事業	県民一人ひとりが主体的に快適な居住空間づくりに参画する活動を活性化させることを目的として、まちづくり計画策定やまちづくり活動を支援する。	・県の景観施策に協力する景観形成等推進員を平成17年度に引き続き募集 30名登録(H19.3.31時点) ・「快適空間」創造に取り組む又は取り組もうとする団体にその費用の一部を助成 30団体に助成	県の景観行政に係る指針を示しながら、住民に対し緑豊かなまち並み景観の形成に参画する意義について周知啓発を行う。また、行政への協力者である景観形成等推進員を引き続き募集する。	13,800	県土整備部 景観形成室 (19まちづくり課)
農住まちづくり計画策定助成事業	『快適空間』創造作戦の一環として、市街化区域内における農と住の調和したまちづくりを推進することを目的として、農住組合を含む地域住民団体が行うまちづくり事業の計画策定を支援する。	支援した地域住民団体: 4地区	市町担当者会議における制度の説明と利用の呼びかけ	4,000	県土整備部 市街地整備課
「阪神南地域ビジョン交流プラザ」の運営	阪神南地域ビジョン委員会が地域ビジョンの実現に向け、自らの活動、地域の活動グループと連携、交流に供するため、休日、夜間にも利用できる活動拠点(阪神南地域ビジョン交流プラザ)を設置・運営する。	阪神南地域ビジョン交流プラザの運営	地域ビジョン委員会の活動等を推進する。	538	阪神南県民局企画調整部企画調整・市町担当参事

■身近な地域で、実践活動・交流、生涯学習、情報収集・発信等に取り組むための場の整備と活動を応援するため、「県民交流広場事業」など、既存施設を有効活用するための取り組みを進めます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
県民交流広場事業の展開	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			854,401	県民政策部 生活創造課、各県民局

■商店街の空き店舗、地元企業の厚生施設等の地域への開放の促進を通じて、企業が地域づくり活動に参画する機会の創出に取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
空き店舗活用支援事業	地域におけるまちのにぎわいや活気の創出を図るため、地域住民の生活利便を増進する生活支援型ビジネスを行う団体、グループや空き店舗等を活用して事業を展開する商業者に対して支援する。	商店街・小売市場に広く事業を募集 ・助成事業件数 39件 (内訳:新規25件、継続14件)	事業の更なる普及・啓発	29,501	産業労働部 商業振興課
都市地域直売施設整備事業	都市地域における地産地消を推進するため、生産者と都市地域の消費者グループ・商店街組合等が連携し、空き店舗等を利用して農産物等の直売や、生産者と消費者の交流等を行う取り組みを支援する。	直売活動の実施にかかる経費の補助:2協議会	・生産者と都市地域の直売関係者(消費者、商店街、野菜小売商等)による協議会の立ち上げ支援 ・関係者のマッチング、取り組み事例等の情報発信	3,360	農林水産部 総合農政課
中心市街地商店街活性化フォーラムの開催	姫路市中心市街地において、商業者が主体的に商店街の活性化に向けた取り組みを進めていく意欲を高めるため、先進事例を学びつつ、活力ある中心市街地商店街づくりについて考えるパネルディスカッション等を行う。	・開催期日:19年3月27日 ・開催場所:姫路商工会議所 ・参加者:商店街、まちづくり協議会、NPO、商工会議所、行政等の関係者約70人	本フォーラムで提示した「姫路市中心市街地商店街再活性化プラン」の実現に向けて、商店街、まちづくり団体、自治会等による協議会を設置し、中心市街地のまちづくりと一体となった商店街活性化の取り組みを進めていく。	754	中播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事

□自立的な財政基盤の充実に支援します

■活動に必要な資金を自前で調達できるなど、地域づくり活動に取り組む団体の活動が自立し、継続することができるような支援に取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局
NPOコミュニティビジネス等活動応援貸付制度	団体・NPO活動の継続・発展を支援するため、設備資金及び運転資金を貸し付ける。	(復興基金による貸付3件、9,000千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	5,023	県民政策部 参画協働課

コミュニティ・ビジネス創出・育成支援事業	コミュニティ・ビジネスの事業の立ち上がり経費の一部を補助することにより、県下各地域におけるコミュニティ・ビジネスの円滑な起業を支援する。	起業予定者から広く事業を公募 ・応募数: 34 ・助成数: 21	・事業のさらなる普及啓発 ・中間支援NPOとの連携による支援	32,022	産業労働部 商業振興課 (19)経営支援課)
----------------------	--	--	-----------------------------------	--------	------------------------------

■中・長期的な視点からひょうごボランティア基金を活用し、地域づくり活動の拡がりに応じた適切な支援を行います

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ひょうごボランティア基金等による助成	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			119,378	県民政策部 参画協働課

■主体性が高まる方法の工夫や、財政的支援のメニュー化など、活動の状況に応じた多様なニーズに対応できるよう、柔軟な支援方法を導入します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局

■企業や財団等が、賛同する地域づくり活動団体等に活動資金の寄附や助成をしやすいしくみづくりに取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動登録制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ボランティア活動資源マッチングシステムの構築・運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動メッセ(ひょうごボランティア・スクエア21)(再掲)		—			県民政策部 参画協働課

■補助金や貸付金について、1カ所(1回)で各種行政サービスが受けられるよう利便性を向上します。  
補助金等の申請にあたっての相談体制の整備など、申請者の立場に立ったしくみを拡充します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
プログラム・オフィサー派遣制度(ひょうごボランティア基金事業)	「行政・NPO協働事業助成」をはじめ、NPOが行政との協働を進めようとする際に、行政との調整・交渉等の各段階で生じる事柄や事業化に向けた計画書づくりなどに対して、適切なアドバイスを行うプログラム・オフィサーを派遣する。	・派遣実績 1回	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	—	県民政策部 参画協働課

### ③活動をつなぎ、広げる

#### □人や活動をつなぎます

■地域づくり活動サポーター、各種推進員などが中心となって取り組む、地域づくり活動の担い手、地域団体のリーダー、コーディネーターなどの情報共有の場となるサポーターズネットの活動を通じて、多様な主体の地域での横断的な取り組みにつなげます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
県民交流広場事業の展開(再掲)		—			県民政策部 生活創造課、各県民局
地域づくり活動サポーターの設置(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域づくり活動登録制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動メッセ(ひょうごボランティア・スクエア21)(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域安全まちづくり推進員設置事業	自ら率先して地域安全まちづくり活動に取り組み、活動を先導するとともに、警察署等の関係機関との連絡調整を担うボランティアである地域安全まちづくり推進員を設置する。	市町等の意見を聴取した上で、制度を設計	推進員を委嘱するとともに、研修会を開催するなどして推進員の活動を支援することにより、地域における継続的な地域安全まちづくり活動の実施と活動の一層の活性化を図る。	1,468	県民政策部 地域安全課
農村ボランティア活動の支援(再掲)		—			農林水産部 農村環境課 (19)総合農政課

「阪神北にぎわい交流広場」の開催	子育て、福祉、防犯、まちづくり等様々な分野における地域活動の一層の促進とネットワーク化に向け、地域団体の活動の発表と交流の場を提供し、併せて地域活動功労者の顕彰を行う。	開催の概要 ・18年12月2日(土) ・伊丹市立産業・情報センター ・第1部:地域活動表彰 第2部:ホスターセッション、アドバイザーによる講評等 ・参加者:200人	地域活動に取り組む団体相互のより一層の交流を高め、参画と協働の推進を図る。	747	阪神北県民局 県民生活部県民担当参事
北播磨子育て3広場推進交流大会の開催	子育て3広場(まちの子育てひろば、子どもの冒険ひろば、若者ゆうひろば)の活動紹介や親子ふれあいイベント等を通じて、ひろば関係者や子育てグループ、親子などの交流を深め、3ひろばのネットワークづくりと地域ぐるみによる子育て支援を図る。	・開催日時 19年3月24日(土) ・開催場所 小野市うるおい交流館 ・開催内容 ①パネル展 ②親子ふれあいステージ ③親子ふれあいコンサート ・参加者 約1,500人	今後は、他地域での開催を通じて多様な主体が参画できる場の提供を行い、横断的な取り組みの拡充を図る。	257	北播磨県民局 県民生活部県民担当参事
いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクトの推進(再掲)					東播磨県民局 企画調整部水辺の地域づくり担当参事
森のまちづくりネットワーク設置事業	緑条例に基づく地区整備計画を策定している地区の活動状況を把握し全体のレベルアップをめざして、勉強会や情報提供を行う森のまちづくりネットワークを構築する。	まちづくり活動が活発な団体を対象に、まちづくりネットワークを設置 ・まちづくり支援情報を交換 ・まちづくり学習会の開催 やまちづくり活動の情報を発信	丹波地域の特性を生かした住民主体のまちづくりのさらなる推進	977	丹波県民局 県土整備部 森のまちづくり担当参事

■ひょうごボランティアプラザが中核となって、分野別・地域別に活動の支援機能を持つ公的な各種支援機関をネットワークした「活動支援ネット」の運営を通じて、支援施策の一体的・効果的な展開を図ります

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
活動支援ネットの設置	ひょうごボランティアプラザが、環境・まちづくり・青少年などの分野別支援または、各県民局に設置されている専門員と顔合わせから始まる場を設け、相互に情報の交換・共有を図り、分野別・地域別のボランティア活動体制の構築を図る。	・県下9地域(神戸除く)において、地域別支援機関相互の情報交換・共有を行った。 ・神戸地域においては、地域別支援機関と合わせて、分野別支援機関相互の情報交換・共有を行った。	・引き続き各支援機関の持つ情報の共有化を促進する。 ・特定の課題を設定し、関係する支援機関が参集して解決に取り組む。	ひょうごボランティアプラザ運営事業委託費に含まれる。	県民政策部 参画協働課

■企業等が持つ地域づくり活動に活用できる資源を地域づくり活動に取り組む地域団体やNPO/NGOに仲介(マッチング)する「ボランティア活動資源マッチングシステム」を構築し、効果的に運営します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
ボランティア活動資源マッチングシステムの運営	企業・労組等が有する「資機材」「活動スペース」「人材」等の活動資源とNPO等の活用ニーズのマッチングを図るシステムを構築し、ボランティア活動の支援者層を拡大するとともに、ボランティアセクターの基盤強化を図る。	・システムの構築・運営を行う企画・運営委員会の設置(企業・労組、NPO、市町社会福祉協議会、学識、行政等) ・モデル運用の実施(事務所備品等のマッチング4回)	本格実施に向けた制度の周知、マッチング事例の紹介等を通じた活用促進	1,000	県民政策部 参画協働課

地域づくり活動登録制度の運用(再掲)	—	県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)	—	県民政策部 参画協働課

■企業等から資金を募り、優れた地域づくり活動を顕彰する「アワード」のようなしくみをはじめ、多様な資金を募るしくみを活用・導入します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ひょうごボランティア活動メッセ(ボランティア・スクエア21)	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			3,726	県民政策部 参画協働課

■地域ビジョン委員等のOB・OGが、経験やネットワークを生かして活動を継続できるよう、委員同士の連携とともに、地域社会やさまざまな地域活動のリーダー等とのつながりを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域ビジョン委員OB会(総称)の設置・運営	地域づくりに対する熱意や実践活動で蓄積されたノウハウを、地域夢会議への参画や独自のプログラムの取り組みなどに生かし、地域ビジョンの活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OB会員同士の交流会や現ビジョン委員に体験談を発表する交流フォーラムの開催</li> <li>・OB会独自のホームページによる情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ビジョンの活動を支援。</li> </ul>	1,500	県民政策部 ビジョン課、 各県民局

■地域づくり活動に関する情報の発信、交流の機会の充実等を通じて、兵庫県や地域に縁や関心がある多様な人・団体のネットワークづくりを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域ビジョン委員会の設置・運営	地域ビジョンの実現に向け、公募による地域ビジョン委員等で構成する地域ビジョン委員会を設置し、その活動(ビジョンのフォローアップ、県民行動プログラムの取りまとめ、ビジョン実現に向けた各委員の取り組みなど)によりビジョンの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期地域ビジョン委員会による活動</li> <li>・地域ビジョン推進プログラム(第2期)に基づく各種取り組みの実施</li> <li>・県民行動プログラムの実践活動の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ビジョン推進プログラム(第2期)のさらなる推進</li> <li>・各地域におけるシンボルプロジェクトの推進</li> </ul>	13,078	県民政策部 ビジョン課、 各県民局
地域ビジョン委員OB会(総称)の設置・運営(再掲)		—			県民政策部 ビジョン課、 各県民局

共生・交流の地域づくりの推進	「ひょうご交流社会創造ビジョン」に基づき、県民や地域が、相互に交流、連携、補完、共生しあう多彩な交流社会の実現に向け、水辺や森、まちやむらなどをテーマにした交流と連携のきずなを深める地域連携モデル調査を実施するなど、課題解決型の交流・連携の地域づくり活動支援のための施策を展開する。	フォーラムへの参加、支援 ・兵庫の集落自慢大会第2回むらづくりオンラインランプリ(主催:ひょうごふるさとづくり交流会議、(特)たんばぐみ、参加人数:100人) ・未知普請近畿大会inひょうご/参画と協働のまちづくりサミット(主催:同実行委員会、参加者数2,000人)  神戸大学農学部地域連携センターとの共同研究	・課題解決型の交流・連携の地域づくり活動を活性化するための支援を充実させる。	1,452	県民政策部 地域振興課
地域づくり活動登録制度の運用(再掲)	—				県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)	—				県民政策部 参画協働課
農村ボランティア活動の支援	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			9,119	農林水産部 農村環境課 (19)総合農政課
棚田地域集落支援事業	棚田地域の集落が連携し、快適で安全な地域の創造をめざすため、連携集落に共有する棚田や里山などの地域資源保全活動や生活環境の整備活動などの集落共同作業や、農山村コミュニティづくりに取り組む元気な女性グループ等の活動への支援をし、「人・もの・情報」の循環を目的に共通社会基盤(プラットフォーム)の整備を推進する。	わが村夢むら支援事業 12地区 元気な女性グループ 18グループ	支援事業のPR	3,900	農林水産部 農村環境課 (19)総合農政課
地域ビジョンパートナーズクラブの運営	地域ビジョン委員OBなどを地域ビジョンパートナーとして登録し、地域ビジョンの実現に向けた「県民行動プログラム」に基づく実践活動の推進状況などを情報発信することにより、地域ビジョンに関心を有する県民のネットワークづくりを進める。	・夢会議の案内 2回 ・ビジョン委員会広報誌(夢じゃーなる)送付 3回 ・活動報告書の送付1回 ・ビジョン交流会の実施(参加者) ビジョン委員 57名 ビジョンパートナー 6名 ・たまり場の提供 6回	ビジョン委員とビジョンパートナーとの交流をより一層進め、参画と協働の推進を図る。	348	阪神北県民局企画調整部企画調整・市町担当参事
花と緑の交流フェスティバルの開催	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			5,000	北播磨県民局企画調整部北はりまハートランド担当参事

兵庫・岡山県際交流の推進	兵庫、岡山県際に隣接する地域の連携・交流を促進し、県際地域の活性化を図るため、共同広報や連携・交流事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県際交流バス 6件</li> <li>・歴史街道往来記(新聞紙面を活用した地域の歴史、文化、観光をクイズを織り交ぜてPR)</li> <li>・イベントへの出店(フロンティア祭他3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政レベルの取り組みを、民間レベルにつなげ、住民の交流活動の一層の活発化</li> </ul>	1,287	西播磨県民局企画調整部企画調整・市町担当 参事
西播磨フロンティア祭2006(第5回出る杭大会)の開催	意欲ある人・団体の社会的認知・応援のため、西播磨フロンティア祭のイベントにあわせ、地域ビジョン委員が実施主体となって実施する「出る杭大会」の開催を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブースでのプレゼンテーション(一般、学生、行政の45団体)、舞台でのパフォーマンス(16団体)</li> <li>・地域ビジョン委員による「出る杭大賞」の選定</li> <li>・来場者約1万人</li> </ul>	西播磨地域ビジョン推進プログラムのシンボルプロジェクトの主要事業に位置づけ、地域ビジョン委員、OB、地域活動団体等との協働のもと、さらなる充実発展に取り組む。	—	西播磨県民局企画調整部企画調整・市町担当 参事
兵庫・鳥取県際交流の推進(国道29号周辺地域の活性化)	兵庫県と鳥取県の国道29号周辺地域の市町及び民間団体等との協力と連携のもとに、自然・歴史・文化及び産業等の優れた地域の特性を生かした広域的な取り組みを通じて、地域の振興を図るため、平成15年4月、「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」を設立し、各種事業を展開している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福ロード協賛店の普及協賛店の募集、PR用のぼり作成、協賛店会議の開催</li> <li>・広域観光マップの作成 部数:30,000部</li> <li>・ラジオ、情報誌等による情報発信 コミュニティFMや情報誌、フリーペーパーを媒体としたPR、各協賛店へのパンフレットラックの設置等</li> <li>・花の郷づくり事業 助成件数5件</li> <li>・氷ノ山親子ふれあいイベントの実施 実施日:平成18年8月19日 場 所:わかさ氷ノ山自然ふれあいの里 参加者:98名</li> <li>・福ロードフェアの実施 実施日:平成18年10月29日 場 所:道の駅「はつとう」</li> <li>・地域魅力発見バスツアーの実施 実施日:平成18年11月3日・4日 参加者:86名</li> </ul>	関係市町と民間団体等の協力のもと各種事業を展開するとともに、地域住民の参加による活性化事業を実施する。	3,853	西播磨県民局 地域振興部産業労働担当 参事

## □地域の取り組みを柔軟に支援します

■多様な主体間や地域間の交流・連携の機会を充実するとともに、多様なニーズに対応して利用者が選択できる支援項目のメニュー化など、柔軟で使いやすい支援方策の導入に努めます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動登録 制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア 活動支援ナビの運営 (再掲)		—			県民政策部 参画協働課

■各地域の創意工夫をこらした新たなしくみづくりなどの取り組みについて、情報提供や交流の場づくりなどを通じて、さらなる展開を支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
こころ豊かな人づくり 500人委員会	地域の諸課題に対し、一人ひとりが自らの問題意識を持ち、真の豊かさを実感できる社会の創造に取り組んでいけるよう、実践活動における指導者養成の場を提供する。2カ年にわたる全県・地域別の研修を実施するほか、修了後のOB会等の促進を通じ、「参画と協働」を基本姿勢とした県民による主体的な取り組みを支援していく。	・第9期修了者数 470人 ・全県セミナー 2日 ・ブロック別カリキュラム 地域セミナー 6回×10地域 地域コーディネーター 養成講座 6回×10地域	各分野の課題に対応した実践活動の展開を進めるため、研修体系をワークショップや実践・体験活動を中心に行い、青少年活動、地域活動の実践者との連携を促進する。	24,572	県民政策部 青少年課
ふるさと青年協力隊	過疎と過密地域を抱える本県の特性を踏まえ、さまざまな交流活動を通じた地域間の連携を図るため、都市部の青年を農山漁村に派遣し、地域の人々との交流や共同作業を通じて、地域の活性化に寄与するとともに、青年の自己実現や社会参加を図る。	・ふるさと青年協力隊 派遣隊数:2隊 派遣人数:46名 ・OB活動の推進 ふるさと若者交流ひろばの開催など自主的な交流会活動を実施	地域住民の参画のもとに地元市町が受け入れ母体となり、青少年育成県民運動の核である青少年本部が中心となって、事業を推進するとともに、青少年が主体的に参加し、交流活動等を実施する。	1,382	県民政策部 青少年課
ふるさと芸術文化発信サポート事業	各地で伝えられる伝統芸能や生活文化、郷土の歴史にまつわる人物やその伝承など、地域固有の魅力的な文化資源を、地域の文化団体や住民等が主体となって、これらの文化資源を生かして実施する芸術文化活動の立ち上げをサポートすることにより、地域自らが芸術文化によってふるさとを元気づけることを目指す。	芸術文化団体、保存団体、NPO法人等の団体など、主として地域住民等の参画によって運営される実行委員会を、10団体採択	補助決定の年度以降、最長3年間まで継続して補助する。また、毎年新たに10件採択する。	2,000	県民政策部 芸術文化課
地域づくり活動登録 制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア 活動支援ナビの運営 (再掲)		—			県民政策部 参画協働課

チャレンジ事業助成 (ひょうごボランティア 基金助成)	NPO法人等が、社会的に重要な課題に対し、斬新なアプローチで取り組みようとする新規事業又は既存事業の拡大・発展に助成する。 ① 新規事業 上限100万円 ② 既存事業 上限50万円	・助成実績 9件(7,340千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	7,340	県民政策部 参画協働課
活動支援ネットの設置(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動の推進	県民運動のさらなる広がりや深まりに向け、「こころ豊かな美しい兵庫」を新しい目標として、多様な主体の連携と協働をもとに積極的な展開を図る。	・個人・団体・グループ・NPO等の多様な主体が自ら地域課題を発見し、課題に応じ重層的なネットワークを築きながら連携協働する“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動の実践を提唱した。 ・こころ豊かな美しい兵庫推進会議の事務局運営 ・県民運動情報誌「ネットワーク」の発行(年4回) ・「県民運動E-news」のHP発信及びメールマガジンの配信(月1回) ・こころ豊かな美しい兵庫推進会議構成団体数: 123団体	・“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動を展開する新たな団体や既存団体による新たな協働関係の構築等による県民運動のさらなる展開のための普及啓発。 ・こころ豊かな美しい地域推進会議の活動を通じての県民運動の実践の提唱と支援(地域づくり活動応援事業、地域づくり活動サポーター設置)	32,756	県民政策部 参画協働課
地域づくり活動サポーターの設置(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業		「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照		100,000	県民政策部 参画協働課、各県民局
ひょうごボランティア活動メッセ(ひょうごボランティア・スクエア21)(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域安全まちづくり事業		「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照		143,677	県民政策部 地域安全課
地域安全活動連携推進事業	おおむね小学校区程度のコミュニティ区域内において、まちづくり防犯グループ等がネットワークを形成し、先進的な活動事例を情報交換するなど、地域安全まちづくり活動の協働実施を支援する。	まちづくり防犯グループ等のネットワークづくりや協働事業の実施に要する経費を助成し、連携した取り組みの支援に努めた結果、H19.3末で78ネットワークが結成	まちづくり防犯グループの活動が地域に根付き、犯罪を抑止する力を一層発揮するために、グループ相互が連携し、様々な情報や活動のノウハウを共有することにより、より広域で質の高い活動の展開を支援する。	20,750	県民政策部 地域安全課

事業所防犯責任者設置事業	事業所における防犯体制を確立し、犯罪の事前抑制を図るため、事業所ごとに防犯訓練・教育、防犯設備の管理等を実施する防犯責任者の設置を促進する。	活動手引書の配布等により、防犯責任者の設置に向けて働きかけを実施	事業者による自発的な防犯責任者の設置を促進するとともに、講習会を開催するなどして、防犯責任者の活動を支援する。	1,000	県民政策部 地域安全課
地域安全まちづくり条例に基づく推進計画・各種指針策定事業	地域安全まちづくり条例に基づいて、県民の活動に対する県の支援施策を総合的・計画的に実施するための推進計画、及び、県民の自発的かつ自律的な地域安全まちづくり活動の参考とするための指針を策定する。	地域安全まちづくり条例に基づき、「子どもの安全を確保するための活動及び措置に関する指針」「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、整備等に関する指針」「犯罪の防止に配慮した深夜営業店舗に係る措置に関する指針」「犯罪の防止に配慮した道路等の構造、設備等に関する指針」を策定	推進計画の策定	2,940	県民政策部 地域安全課
「ひょうご安全の日のつどい」推進事業	阪神・淡路大震災の経験と教訓や多大な支援への感謝を内外に発信し、1.17を忘れずに語り継ぐとともに、安全・安心な社会づくりを記する日として定めた「ひょうご安全の日」(1月17日)に県民の参画のもと「ひょうご安全の日のつどい」を開催する。	県民(NPO、ボランティア等)の参画と協働により事業を開催、県民等4,900名の参加があった。 ・1.17ひょうごメモリアルウォーク(東西コース、自主計画コース) ・1.17のつどい(HAT神戸) ・交流ひろば、防災訓練 また、各県民局において「地域のつどい」を開催。	県民の参画と協働により、引き続き実施していく。	10,000	企画管理部 防災企画局 企画課
「ひょうご安全の日推進県民会議」の運営	「ひょうご安全の日を定める条例」の趣旨を踏まえ、阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく、今後安全で安心な社会づくりを推進する取り組みを広く県民の参画のもとに実施していくため、県域・職域の団体等で構成する県民会議を設置・運営する。	・構成団体数:128団体・個人 ・開催回数:1回(総会のみ) 引き続き、ひょうご安全の日に関する取り組みを推進した。	今後も引き続き県民の参画により県民会議の運営を行っていく。	1,226	企画管理部 防災企画局 企画課
「ひょうご安全の日」広報啓発事業	「ひょうご安全の日を定める条例」の趣旨を普及・浸透させ、行政、企業、団体、県民等様々な主体による安全・安心な社会づくりに向けた取り組みを促進するため、県内はもとより国内外への発信などの広報・啓発を実施する。	県広報媒体をはじめ、啓発リーフレット等の各種媒体による広報・啓発を行った。	今後も引き続き、県民等への広報・啓発を行っていく。	499	企画管理部 防災企画局 企画課
「1.17は忘れない」地域防災訓練等の実施	阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、県民一人ひとりが大震災を忘れず、将来の災害への備えの充実を図るため、「ひょうご安全の日」を含む減災月間を中心に、自主防災組織等の地域住民と学校が連携した防災訓練等の実施を支援する。	減災月間を中心に567の小学校区及び183の中学校区で地域と学校が連携した防災訓練等が実施された。	地域と学校との連携をより一層推進していく。	6,088	企画管理部 災害対策課

子育て応援ネット推進事業	地域を舞台に、地域の女性団体などがネットワークを組み、子育て家庭への見守りや声かけなどを行う子育て家庭応援運動を展開するとともに、その中で、虐待や問題行動等のシグナルやSOSを見逃さずにキャッチし、関係機関に連絡すること等による、地域ぐるみでの子育て家庭への支援を全県的に推進する。	・兵庫県地域女性団体ネットワーク会議の構成団体(婦人会、いずみ会などの18団体)、自治会、子ども会、青少年関係団体、PTA等の地域の団体などがネットワークを組み、子育て家庭を支援 ・県内すべての市町でのネットワーク立ち上げ完了、41市町802校区／817校区中でネットワークを展開	・県内すべての小学校区でのネットワークの立ち上げ ・立ち上げたネットワークの活動の一層の展開を促進 ・参加団体・参加者の増加を図り、活動のすそ野の拡大と活動の定着 ・各地域でのSOSキャッチ活動の推進	13,407	健康生活部 少子対策課
こどもの館三世代ふれあい交流事業	地域ぐるみで子育てに取り組むための支援体制を充実し、世代間を超えたふれあい活動によって総合的な子育て支援機能を高める。	・ふれあいクラブ「館」(和楽器演奏、よさこい)の活動 参加者数 (和太鼓) 延べ174人 (よさこい)延べ 91人 ・三世代ふれあいコーディネーターの養成講座 参加者数 延べ569人 ・三世代ふれあい交流サロン 12回開催 69団体出演 参加者数 延べ2,632人	養成したコーディネーターの地域への派遣	3,241	健康生活部 少子対策課
里親制度の推進	家庭養護の促進をはじめ、里親里子交流や研修、養育相談事業等を通じて、着実に里親制度の推進・運営を図られるよう事業の展開を図る。	<里親制度の普及・啓発活動> ・新聞、ラジオによる制度の普及啓発や里親のさがし活動 <里親里子交流研修会の実施> 1回、参加者171名 <週末里親事業> 9名 <専門里親事業、里親支援事業> ・被虐待児を養育する専門里親の養成 3名 ・新規里親登録者を対象とした基礎研修の実施 2回	・里親や里子に対する正しい理解を促し、さらには、新たな里親家庭を開拓し、里親委託の拡充につながるよう、地域団体等への働きかけ ・里親への養育支援体制の充実	3,605	健康生活部 児童課
5R生活推進事業	「循環型社会形成基本法」「21世紀兵庫長期ビジョン」「ひょうご循環社会ビジョン」がめざす環境優先社会を推進するため、兵庫県5R生活推進会議や5R生活推進県民大会の開催、全県下での環境美化統一キャンペーンの実施等により、県民によるごみのない5R生活の形成を支援する。	・地域別5R生活推進会議に、生産・流通・消費・再生等にかかわる関係者が参加 86人 ・全県下で、国体等の開催に併せた環境美化統一キャンペーンを実施 (5/30～10/16)	・5R生活推進会議や省資源省エネルギー運動・5R生活推進県民大会等の開催を通じて、県民による5R生活の形成を支援 ・県下各地の美化活動にボランティアが参加 ・キャンペーンの協賛団体の拡大 ・地域別5R生活推進会議において、生産・流通・消費・再生等関係者が参加して減量化、再資源化について協議	2,840	健康生活部 環境政策課 (19)環境整備課

不法投棄を許さない地域づくり推進事業	平成12年度から不法投棄監視体制の強化に努め、年間不法投棄量の減少という成果を上げてきたことから、さらなる減少を目指し、早期発見、通報体制を強化するとともに、今後地域と連携して不法投棄防止策を講じる「不法投棄を許さない地域づくり推進事業」を実施する。	・郵便局、JA、宅配業者との協定に基づく通報 6件 ・住民との合同監視パトロール 30件	・住民との合同パトロールの促進 ・地域住民主導の不法投棄未然防止活動の拡大	14,800	健康生活部 環境整備課
コミュニティ・ビジネス創出・育成支援事業(再掲)	—	—	—	—	産業労働部 商業振興課 (19)経営支援課)
生きがいしごとサポートセンターの設置	コミュニティ・ビジネスやNPOでの就業などを新たに行おうとする者や既に行っている者への各種支援により、新しい価値観に基づく「生きがいしごと」での就業が可能となるよう、「生きがいしごとサポートセンター」を設置し、NPOにその管理・運営を委託する。	コミュニティ・ビジネス等での就業・起業を行う者への支援等を実施する中間支援組織のNPO団体に対する補助を実施。 入門相談件数 51,176件 来場者数 18,656人 起業団体数 118団体	高齢社会と団塊世代の一斉退職に対応するため、県内の各生きがいしごとサポートセンターにおいて、シニア・団塊世代に対する支援強化を図る。	78,000	産業労働部 しごと支援課
シニア生きがいしごとサポートセンター設置事業	生きがいを重視した働く場や活動の場を求める定年退職者等を総合的に支援することにより、高齢者のニーズに応じた活躍の機会の提供を行うため、「シニア生きがいしごとサポートセンター」を設置し、NPOにその管理・運営を委託する。	定年退職後のシニア世代でコミュニティ・ビジネス等の就業・起業を希望する者への支援等を実施する中間支援組織に対する補助を実施。 入門相談件数 739件 来場者数 1,614人 起業団体数 13 団体	高齢社会と団塊世代の一斉退職に対応するため、シニア生きがいしごとサポートセンターの機能を県内の各生きがいしごとサポートセンターに統合し、シニア・団塊世代に対する支援強化を図る。	4,400	産業労働部 しごと支援課
ひょうご勤労者ボランティアシステム推進事業	勤労者のボランティア活動への参画を促すため、情報提供及び、コーディネート(マッチング等)を行う。	勤労者のボランティア登録、活動 登録者数 877名 マッチング成立人数 265名	今後は団塊世代等の地域参画を促し、ボランティア活動への積極的な支援を展開する。	11,756	産業労働部 しごと支援課
ひょうご美しいむらづくり推進事業	地域住民が主体となり、地域特性や地域資源を再認識し、地域固有の美しい景観や伝統的文化等を活用し、愛着と誇りを持てる魅力ある農山漁村づくりを推進する。	・新たにひょうご美しいむらづくりに取り組む34地区において、アドバイザー派遣による支援実施 ・美しいむらづくりの推進PRとして、代表集落の活動紹介やパネルディスカッションなどのフォーラム(参加者500名)を開催	18年度をもって事業が終了し、県が負担してきたアドバイザーへの謝金を、19年度からは集落が負担することとなったため、集落の取り組み意欲の低下が懸念される。 農地・水・環境保全対策活動支援交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用して取り組みを行うよう啓発を行う。	2,793	農林水産部 農村環境課 (19)総合農政課)
農村ボランティア活動の支援(再掲)	—	—	—	—	農林水産部 農村環境課 (19)総合農政課)

棚田地域集落支援事業(再掲)	—				農林水産部 農村環境課 (19)総合農政課)
地域用水機能増進事業	たつの市から太子町にまたがる260haの農地を潤す地域農業の貴重な水源として、その役割を果たしてきた「岩見用水」の県営による水路改修工事に合わせ、景観や生態系の保全機能、親水機能、生活用水機能などの地域用水機能を見直すとともに、地域住民の意見を反映した地域用水機能の増進施設を設置し、地域の自主管理のもとに、親しみのある地域用水づくりを推進する。	・地域ワーキンググループ活動8回 ・「岩見用水まつり」開催 ・地域用水だより発行 ・太子町宮本公園工事、嘗田管理用道路工事 ・「岩見用水クリーン作戦」等の開催	継続的な取り組みのほか、他地域へ波及させるため、積極的な情報発信を行う。	4,940	農林水産部 農村環境課
地域ぐるみため池保全活動支援モデル事業	ため池受益者や、地域住民、市町、環境団体等が連携を図り、ため池のもつ多面的機能の発揮に配慮しつつ、ため池管理・保全を地域ぐるみで取り組むこと及びため池管理体制の明確化を図ることを目的に設立された、ため池保全協議会に対し、その活動を支援する。	2つのため池で実施協議会開催 10回 ため池クリーンキャンペーン3回 施設整備・植栽 2回 PR紙配布	実施をした地域では、保全体制が地域ぐるみで確立されたが、今後周辺の地域にも活動を広げていく。	5,000	農林水産部 農村環境課
多自然居住推進事業(多自然居住支援サイトの運用)(再掲)	—				県土整備部 都市政策課
まちづくり支援事業	まちづくり基本条例に掲げる“協働のまちづくり”の理念のもと、地域に根ざした地域住民の自発的かつ自律的なまちづくり活動を支援するため、まちづくりアドバイザーやコンサルタントの派遣、活動助成などを実施する。	支援した住民団体数：24地区	・県下全域において住民主体のまちづくりを推進するため、県下全市町での事業活用等により、取り組みを一層推進	27,575	県土整備部 都市政策課
多自然居住計画策定事業	多自然地域(自然豊かな農山漁村など)において、NPO等の活動団体や民間デベロッパー等が、多自然居住に資する菜園付き住宅や一時滞在施設等を計画的に整備する場合には、県が計画策定費の一部を助成する。	・丹波市の民間会社に対して、神河町大川原地区に関する計画策定を支援	・引き続きNPO等の活動団体や民間デベロッパー等に対して助成	2,475	県土整備部 都市政策課
多自然居住広域活動団体助成事業	NPO等の活動団体による、地域の需要に即した多自然居住の推進に資する自発的な活動を支援する。	・複数の市町にまたがる広域的なエリアを活動の場として、多自然居住の推進に資する活動に取り組むNPO(4団体)に対して補助金を交付	・引き続きNPO等の活動団体や19年度から新たに大学の研究グループに対して助成	2,000	県土整備部 都市政策課
災害復興公営住宅高齢者元気アップ活動支援事業	NPO・ボランティアグループが、災害復興公営住宅で暮らす高齢者の元気アップや生きがいづくりのために地元自治会や支援者と連携・協力しながら行うふれあい交流事業を支援し、住民自らのコミュニティづくりにつなげていく。	災害復興公営住宅で暮らす高齢者の元気アップや生きがいづくりに取り組むNPO・ボランティアグループに対して補助金を交付 ・補助数：4団体	・被災地の全NPO法人に対し、募集チラシの配布を行い、幅広く制度趣旨の周知徹底	4,882	県土整備部 復興支援課

まちのにぎわいづくり一括助成事業	震災により被災し、にぎわいを失ったまちの再生に向け、地域団体が主体的な発意に基づき、地域の実情や特性に応じた、継続可能な特色あるにぎわいづくり事業に対し一括助成し、にぎわいの再生を図る。	申請があったまちづくり協議会・商店街振興組合等の地域団体に対し、公開プレゼンテーションによる審査会を実施し、13団体を採択した。	19年度においても新たに事業を実施する団体を募集し、昨年度と同様に事業採択を行う予定。	92,300	県土整備部復興支援課
子ども多文化共生教育支援事業の実施	日本語理解が不十分な外国人児童生徒への指導補助や生活適応、心のケアを行う非常勤嘱託員を当該児童生徒の在籍する学校へ配置するとともに異なる文化や価値観を有する児童生徒が一堂に会するフェスティバルを開催する。また、多文化共生の拠点としてセンターを整備し、相談業務等を実施する。	・子ども多文化共生サポーターの派遣 196校 ・子ども多文化共生センターの運営 ・子ども多文化共生ボランティアの養成 講座受講者数 158人	日本語理解が不十分な外国人児童生徒を支援するサポーターの派遣とボランティアの養成を推進	108,227	教育委員会人権教育課
地域交通安全活動推進委員との協働による交通安全活動の推進	公安委員会が委嘱した委員と協働による、①住民に対する交通安全教育②適正な駐車及び道路の使用方法について住民の理解を深めるための運動③その他交通の安全と円滑に資するための活動を推進する。	県下48の警察署の管轄区域に計839名の委員を委嘱し、交通事故防止キャンペーン、違法駐車追放キャンペーン等を実施した他、高齢者宅を訪問する交通安全教育活動を実施した。 主な活動 交通安全教育 1,142回 広報啓発 3,392回	現在の活動を継続的に実施するとともに、年々増加傾向にある高齢者の交通事故抑止のため、高齢者宅訪問活動や自転車利用者による交通事故抑止のための街頭活動を推進する。	14,538	警察本部
「地域ふれあいの会」による地域安全活動の推進	地域住民による地域安全活動を推進することにより、地域の自主防犯機能を高め、安全で安心できるまちづくりを実現するため、地域住民の中から警察署長が委嘱した「地域ふれあいの会」委員と交番・駐在所勤務員とが協働して地域安全活動を展開する。	・地域ふれあいの会198会 委員3,517人を委嘱 ・地域ふれあいの会委員による防犯パトロール、子どもの安全対策、少年非行防止パトロール等 11,730回実施	現在の活動の継続強化	6,714	警察本部
六甲山活性化の推進	都心に隣接し、交通至便の地ながら豊かな自然に恵まれている六甲山の新たな魅力を引き出し、そのにぎわいの創出を図る。	・六甲山自然保護センター・六甲山ガイドハウスの運営 ・ガイドボランティア「山の案内人」事業の実施(山の案内人登録者数 H19.3.31現在55人) ・六甲山自然保護センター運営協議会の開催(年2回) ・コーディネーターの駐在 ・ホームページ(六甲山楽しみ情報ボックス)への情報提供 ・六甲まや有馬エコツーリズムフェスタ(六甲山地区国立公園編入50周年記念事業・再掲)	・六甲山の活性化に資するよう、県民の主体的な参画による県立六甲山自然保護センター運営を図るとともに自然保護センターの一層の機能強化を図る。	3,796	神戸県民局企画県民部(健康福祉・環境担当参事)他

灘(六甲山～東部新都心)文化軸活性化の支援	灘区西部の南北軸では、美術館や動物園、スポーツ施設、大学などの文化施設が集積し、東部新都心では県立美術館を始めとする新たな文化教育環境の整備が進められている。 一方、同地域では南北交流軸の要となるJR灘駅の橋上化に向けた動きとともに、豊かな地域資源を生かした、住民が主導する新たなまちづくりへの取り組みが始まっている。 これらのことから、地域の自治会、婦人会、まちづくり協議会、商店会やNPO団体等と神戸県民局、灘区役所等が連携し、地域の灘文化軸活性化の取り組みを支援する。	・「灘文化軸・秋の大芸術祭」の実施 地元住民、神戸県民局、灘区役所等が実行委員会を立ち上げ、様々な事業を実施 開催：平成18年11月中 主催：灘文化軸秋の大芸術祭実行委員会 共催：神戸県民局・灘区役所 開催場所：原田の森ギャラリー、王子動物園ホール他 参加者：6,000人	・将来のJR灘駅橋上化による南北交流の進展を睨み、住民主導による灘文化軸活性化の取り組みが継続して行われるよう支援内容に配慮	1,000	神戸県民局 企画県民部 企画調整担当 参事
「子どもたちの出会い系サイト何でも相談電話」の実施	子どもたちが携帯電話等を媒介にした事件やトラブルに巻き込まれるケースが増えていることから、地元団体と協働し、小学校高学年の全児童及び中・高校の全生徒を対象にしたフリーダイヤルの相談電話を実施する。	・「子どもたちのための出会い系サイト何でも相談電話」の実施 期間：平成18年9月～10月の毎週火・木・金・土の16時～20時 周知方法：電話番号を記載したポケットサイズのカードを配布 電話着信数 1,445件	平成17年度に引き続き、神戸生活創造センター消費生活相談窓口など関係機関との連携を図った。事業期間以外にも、相談電話がかかってくるなど、事業委託した団体などの相談窓口が知られるようになってきたことから、相談対応事業として一定の役割を果たしたことから、平成18年度で事業を終了する。	715	神戸県民局 企画県民部 県民担当 参事
六甲山地区国立公園編入50周年記念事業イベントの実施	関係機関・関係団体による六甲まや馬エコリズムフェスタ実行委員会を立ち上げ、記念シンポジウム、六甲山健康づくりウォーキング等を実施する。	・六甲山の日記念エコリズムフォーラム(6月5日) 参加者350名 ・チエンソーアートフェスティバル(5月21・22日) 参加者2,500名 ・六甲まやカーニバル他	・関係民間団体、自治会、NPO法人、関係機関等からなる実行委員会が事業を推進	2,900	神戸県民局 企画県民部 健康福祉・環境担当 参事
六甲山健康づくりウォーキングの普及	電鉄会社が実施するハイキング事業と連携し、兵庫県健康財団等の協力を得てウォーキング参加者を対象に、健康チェックやミニ講演会を実施する。	・健康づくりチェック ・健康づくり講演会 実施日 5月3日 参加者 延440名	・ハイキング参加者を中心に県民が参加	511	神戸県民局 企画県民部 健康福祉・環境担当 参事
地域ぐるみ安全対策事業実践発表大会の開催	安全で安心な兵庫の実現を目指し、地域ぐるみ安全対策のより一層の推進に資することを目的として、地域での防犯活動に関する専門家の講演、神戸地域で実際に防犯活動に取り組んでいる団体による活動発表、会場参加者を交えての意見交換等を行う。	地域ぐるみ安全対策事業実践発表大会の開催 開催日：平成19年3月26日 開催場所：兵庫県中央労働センター 参加者：108人(一般県民、防犯グループ関係者等)	大会の開催を機縁としてより一層各地域での防犯活動が活発化するよう、引き続き情報提供その他の各種支援に努める。	175	神戸県民局 企画県民部 さわやか県政・連携担当 参事
神戸地域商店街等の活性化	商店街等が地域住民と一体となつて行うコミュニティ事業等の実施を通じて、地域住民との新たな関係づくりを支援する。	商店街が実施する地域防犯活動や地域の歴史・文化の発掘、発信活動などを支援 実績：6商店街	平成18年度で事業終了(事業終了後の各事業の継続状況の情報収集と、それに基づく新たな支援の検討)	1,884	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 参事

地域ホスピタリティ強化事業	神戸の魅力を高め、「おもてなしの心」あふれる観光サービスを実施させるため、駅前周辺などで観光ガイドボランティアグループ等が行う観光案内を支援する。	・観光ガイドボランティアグループや地元商店街が行う観光案内事業に対し、その経費の一部を支援 実績:6団体	平成18年度で事業終了	1,165	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 参事
学生による商店街活性化支援事業	学生による商店街活性化活動が、商店街に新たな風を吹き込んでいくことが期待されていることから、学生が商店街等で行う活性化事業を支援するとともに、情報交換、ネットワークづくりの機会として交流会を開催する。	・交流会 実施日:3月19日 15時~17時 場所:ラッセホール 概要:事例発表(3団体) テーブルディスカッション コメント	学生による商店街活性化補助事業ややる気ネットでの情報交換を通じて、学生と交流を図っていく。	470	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 参事
市街地における地産地消フォーラム	農産物の生産地域での直売所が増加する一方、市街地の住民からは市街地に直売所設置を求める声が強くなり、今後地産地消をさらに進めていくうえで、大きな検討課題となっている。 このため、地産地消の今後の取り組み方について関係者の合意形成を図る一助として、「市街地における地産地消フォーラム」を開催する。	・「市街地における地産地消フォーラム」の開催 開催日:18.7.28 参加者数:110人 (主な参加者:神戸市消費者協会会員) 基調講演:「食の安全安心と地産地消」 パネルディスカッション:「多様な形での地産地消」 (生産者、消費者等)	市街地での農産物直売所の設置は、流通関係等に課題があるが、地域での合意形成を図り、地産地消を推進する。	500	神戸県民局 地域振興部 神戸農林水産振興事務所
市民農園まつりイン神戸の開催	作物を育て収穫の喜びを味わうことのできるなど、楽農生活実践の最も身近な場所である市民農園の拡大や整備を促進するため、県と市民農園開設者、関係機関が協働し、市民農園利用の魅力発信する「市民農園まつりイン神戸」を開催する。	・市民農園開設者連絡会議の開催 開催日:年2回 構成員:市民農園開設者、JA兵庫六甲、神戸市、県 ・「市民農園まつりイン神戸」の開催(みのりの祭典) 開催日:18.11.3 開催場所:湊川公園 参加者数:5,000人 ・市民農園生産物品評会・即売会 ・楽農生活PRコーナー ・市民農園紹介・申込受付 ・栽培などの相談コーナー	・楽農生活を推進するため、さらに市民農園の開設者と利用者との情報交換を図る必要がある。 ・今後は「市民農園まつりイン神戸」を昨年度に開設した「楽農生活センター」を開催場所に加え、さらに楽農生活を推進する。	852	神戸県民局 地域振興部 神戸農林水産振興事務所
参画と協働による「六甲の森づくり」	安全で自然豊かな都市空間を創出する六甲山系グリーンベルト整備の推進には、市民、NPO、行政等が主体性をもって、参画し協働できる仕組みが重要であるため、六甲山をフィールドに独自の活動を行っている人々とのネットワークを形成する交流会等を実施する。 地域の裏山の利活用方を住民とともに考え、実践していくために神戸市東灘区森北地区において、地域住民の参画によるコミュニケーション型県土づくりモデル事業を実施する。	・平成19年3月3日 六甲の森のなかまたち交流会を開催。人と自然の博物館と連携し、活動団体、住民、行政等 参加者約50名。 ・森北地区の森づくりに関しては、計5回の森づくりに関する勉強会を開催。住民等69名が参加。	・多くの活動団体等の参画が得られるよう、引き続き交流会等を実施する。 ・森北地区について、地域住民との参画と協働による森づくり活動が行えるよう引き続き支援していく。	4,990	神戸県民局 県土整備部 神戸土木事務所
六甲山グリーンベルトハイキングの開催	国土交通省と兵庫県では、六甲山系において防災樹林帯の整備・育成により土砂災害から暮らしを守るとともに、市街地の拡大を防止し自然豊かな山にするため、「六甲山系グリーンベルト整備事業」に取り組んでいる。 この事業の周知を図り森づくりへの理解を深めるため、神戸市灘区でハイキングイベントを開催する。	日時:平成18年11月3日 場所:掬星台~天狗道・稲妻坂~布引ハーブ園 参加者:参加申込者の中から抽選による100名が参加。	・六甲山系グリーンベルト事業の広報活動に努める。	1,567	神戸県民局 県土整備部 神戸土木事務所

ひったくり防止対策の推進	<p>阪神南地域は、ひったくりの発生件数が全県の4割以上を占め、大きな地域課題となっていたことから、平成15年度から、地域を挙げたひったくり防止のキャンペーン活動を展開している。その結果、平成16年度末には、14年度の約半分となっているものの、なお、全県の39%を占めている。</p> <p>各種グッズなどの配布を通じて、啓発に努めてきたところであるが、防犯ネットの抑止効果が高いという警察署からの報告もなされているところである。そこで、特に多発、増加している地域に対して重点的に防犯ネットなどの防犯グッズを配布することにより、これらの地域での予防活動を重点的に展開する。</p>	<p>阪神南ひったくり防止キャンペーン推進会議の開催 1回 延べ34人 ひったくり防止キャンペーンの実施 7回 延べ350人 啓発資材の作成・配布 シヨッピングバスケット100個 カゴネット 3,000個</p>	<p>・地域の自治会、防犯協会、まちづくり防犯グループ等を巻き込んだ活動の展開</p>	500	阪神南県民局 県民生活部 県民担当 参事
阪神南地域まちづくり防犯キャンペーン(仮称)の実施	<p>地域安全まちづくり活動の中心として期待される「まちづくり防犯グループ」は、16年度より自治会を中心に結成が進められつつあるが、その活動支援・充実を目的に最新の防犯対策に関する講演や日頃の活動発表を通じた交流の場としての交流大会を開催する。</p>	<p>阪神南地域まちづくり防犯グループ交流大会 平成19年2月23日 尼崎市立労働福祉会館 大ホール 300人参加 講演、振り込め詐欺等の未然防止策、啓発ビデオ上映等</p>	<p>・地域のまちづくり防犯グループの活動支援と充実を目的とし、最新の防犯対策に関する講演や日頃の活動発表を通じた交流の場を提供する。</p>	80	阪神南県民局 県民生活部 県民担当 参事
“こころ豊かにのびよう！のぼそう！ひょうごっ子”	<p>若者に夢と感動を与える青少年健全育成フォーラム等を実施し、子どもを地域ぐるみで守り育てる機運を醸成するとともに、青少年が未来に夢を描けるような機会を創出し、「ひょうご青少年憲章」の理念の一層の浸透を図る。</p>	<p>開催の概要 ・19年2月4日(日) ・宝塚歌劇場(貸切) ・県内の小学生～20歳未満の青少年とその保護者 ・1部鼎談 2部歌劇鑑賞 ・2,464人</p>	<p>・フォーラムを通じ、華やかな宝塚歌劇の裏側には、厳しい下積み時代や日々の練習の積み重ねがあり、青少年が夢をもって努力することの大切さを伝えることができた。</p> <p>・平成19年度は、フォーラムと各種団体等との協働によりキャンペーンを実施し、子どもを地域ぐるみで守り育てる機運の醸成を図る。</p>	8,820	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
廃棄物不適正処理未然防止対策の推進	<p>地域として「地域環境力」を高め、地域住民、企業、NPO等の様々な主体が廃棄物不適正処理未然防止の取り組みにかかわることをめざし、地域住民との連携の拡大を図る。</p>	<p>・地域住民主導の未然防止活動の促進支援 ①対象地域(モデル事業実施地域):宝塚市西谷地区 ②活動内容:地域住民による監視、連絡・通報体制の整備、クリーン活動の実施等 ・事業者の地域活動への参画誘導 ・不法投棄防止専門員の配置等による監視体制の強化 ・ネットフェンス、監視カメラ等の設置による監視体制の強化 ・不適正処理の未然防止啓発フォーラムの開催</p>	<p>モデル事業地域の活動を継続支援するとともに、地域住民の活動支援地域を拡大する。</p> <p>また、事業者の地域活動への参画を促し、地域全体としての廃棄物不適正処理未然防止活動を促進する。</p>	8,103	阪神北県民局 県民生活部 環境担当 参事

阪神北里山博物館推進事業	都市部に隣接する阪神北地域の里山を県民に紹介するとともに、里山保全に向け森林ボランティア活動への参加啓発・普及啓蒙による活動の充実を図る。	協議会設立、里山まつりの開催、里山利用講座開催。里山まつり参加者3,000名	県民参加による台場くぬぎ調査、里山まつりの開催、紹介パンフレットづくりを進める。	2,417	阪神北県民局 地域振興部宝塚農林振興事務所
ため池活用事業	ため池の多面的機能を活用して、地域住民との交流の場を提供する。	宝塚市のイヤ谷池、川西市の困ノ尻池を活用し、ため池の維持管理作業を通して都市と農村、非農家と農家の交流を図る生き生きキャンペーンを開催 参加者121名	・ため池の持つ多面的機能の普及啓発 ・ため池への理解を深めてもらうよう参加を促進	285	阪神北県民局地域振興部宝塚農林振興事務所
オープンガーデン開催支援	オープンガーデンの開催支援やペランダ園芸・壁面緑化講座の開催などにより、ガーデニングのすそ野拡大を図り、花き・植木の需要を拡大し、産地の活性化、景観園芸産業の振興を図る。	・公開庭数:274 ・巡回バス提供:3台、150人 ・巡回講座の開催委託:20回、398人 ・啓発資料「楽しいガーデニングⅡ」5,000部作成配布	・巡回講座の開催により公開庭主の拡大を推進 ・啓発資料の配布によりガーデニングの取り組みを普及	1,912	阪神北県民局地域振興部宝塚農林振興事務所
植木と花の郷づくり推進事業	日本三大植木産地の歴史を生かし、景観園芸産業の活性化を図るため、地域の業界や住民などの幅広い参画のもと「植木と花の郷づくり」を推進する。	・ワークショップの開催 2回 ・講演会の開催 1回 ・植木と花の郷スタンプラリーの実施 10月(26日間)、29施設・店舗対象 ・ガイドブック、マップの作成 15,000部	・地域の景観園芸産業業界や地域住民など幅広い参画	1,756	阪神北県民局地域振興部宝塚農林振興事務所
いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクトの推進	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			23,781	東播磨県民局企画調整部水辺の地域づくり担当参事
なくそう不法投棄大作戦の展開	平成17年度に発足した「廃棄物エコ手形制度」を円滑に施行させるとともに、新たな不法投棄をされないよう監視体制を充実する事業を展開し、関係業界及び地域住民と一体となって、不法投棄に対する意識の向上を図り、不法投棄を許さない地域づくりを推進する。	廃棄物エコ手形制度による不法投棄物回収状況 ①加古川市志方町広尾 ②高砂市竜山 ③加古川市志方町大沢 撤去物:廃車、廃タイヤ、一般ごみ等、計40トン 参加者:計26名(処理業者、地域住民、行政、協力会社6社)  地区自治会との不法投棄監視協定地区:3連合会・区会と締結 監視カメラによる監視(3カ所設置、監視)	住民、事業者、行政が一体となって不法投棄の未然防止を図る「不適正処理をしない、させない地域づくり」を推進する。	2,700	東播磨県民局 県民生活部環境担当参事
空き店舗マッチング事業	東播磨の中心市街地の活性化をめざして、空き店舗解消を推進する市町、商店街と空き店舗活用の事業に意欲のある事業者等を結び付け、空き店舗解消を目指す。	・寺家町商店街フリーマーケットへの助成 ・空き店舗情報ホームページの作成	中心市街地の空き店舗解消と新たなにぎわいづくり	1,500	東播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事

<p>学生と進める商店街元気発信事業</p>	<p>東播磨の商店街活性化をめざして、管内の市町、商工会議所・商工会、商店街が、学生・生徒とともに行う事業(①学生・生徒と商店街との元気づくり連携事業 ②空き店舗いきいき再発見事業 ③意見交換会)に対し、経費の一部を補助する。</p>	<p>商工会議所が商店経営に意欲のある学生、商店街店主と連携して行う商店街活性化への取り組みを支援 【明石商工会議所】 明石市立明石商業高校(生徒32名)と明石銀座商店街振興組合が進める商店街元気発信事業 【加古川商工会議所】 県立農業高校(生徒8名)と寺家町商店街振興組合が進める商店街元気発信事業 【高砂商工会議所】 県立松陽高校(生徒10名)と伊保駅前商店街が進める商店街元気発信事業  商店街活性化セミナーの開催(参加者:約50名)</p>	<p>商店街と学生・生徒が共同で行うにぎわいつくりや、学生・生徒が事前講義で学んだ専門知識を基に、実習・実験的な店舗経営を空き店舗で行うことにより、多くの人々が商店街に足を運び、空き店舗の可能性を再発見する取り組みを行う。</p>	<p>2,000</p>	<p>東播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事</p>
<p>東播磨新産業創出活性化事業</p>	<p>研究開発等に意欲的な企業が参画する「東播磨新産業技術交流研究会」の活動を継続して支援し、共同研究等による新分野進出、新製品開発といった、ものづくり産業の活性化を図る。また、既存の支援制度の対象とならない小規模な事業等への支援制度を継続することにより、中小企業の新たな取り組みに対して一層の促進を図る。</p>	<p>【月例交流会】 学識者等によるセミナー、会員企業からの共同研究の呼びかけ、自由な意見交換・交流会の開催 「地財を活かした連携の可能性」他3回開催  【テーマ別部会】 浄水汚泥の資源化……東播磨利水事務所をオブザーバーとし、会員5社と県立工業技術センターとで共同研究を実施。 (浄水場で出る汚泥を資源として商品化する研究) 6回開催。  【技術交流ミーティング】 地域企業と研究機関との橋渡しとなる場を提供する技術交流ミーティングを3回開催。  【東播磨新産業創出支援事業】東播磨研究開発促進事業・・・2件 【東播磨技術ニーズ出前事業】地域の中小企業のニーズや各種技術的な課題を把握し、その解決を支援するため、大学等幅広い機関が連携して最もふさわしい専門家を探し出して派遣し、アドバイスを実施。4件実施。</p>	<p>・企業の新製品・新技術の開発を支援するため、企業へのアドバイスをを行うとともに、企業が抱えている技術的な課題を解決するため、研究機関への橋渡し役となる専属的なアドバイザーの設置</p>	<p>6,773</p>	<p>東播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事</p>
<p>東播磨地域都市近郊農業の振興(地産地消の推進)</p>	<p>東播磨の強みと魅力を生かした農業生産の拡大、安全・安心な農産物の供給により、消費者と生産者が共に支え合う都市近郊農業の振興を図る。</p>	<p>1. 地産地消推進会議の開催 2. 地産地消応援団の活動支援 3. 旬カレンダーによる料理教室の開催 4. 直売所出荷用パイプハウスの設置補助 5. 地域の強みを発揮するチャレンジ農業等の支援</p>	<p>農産物直売所等を拠点として、地産地消応援団(消費者等:SASAE隊、生産者:H IROME隊)が互いに連携して活動することが重要であり、必要な支援を行う。</p>	<p>3,750</p>	<p>東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所</p>

地域農産物等の加工品開発支援事業	地産地消の拠点となる直売所の品ぞろえを充実させるため、広く一般公募により選定した地元加工グループ等の地元農水産物を利用した加工品開発に対して助成を行う。	・2団体に支援 ・開発品目：いかなごの魚醤、野菜入りパン等	・地域農水産物を理解し支援してもらうためには、地域の生産者と消費者をつなぐ親しみやすい地域特産加工品が必要であり、今後も加工品開発を支援	344	東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所
農産物直売所における交流支援	地産地消の理解と啓発一環として直売所出荷農家と消費者が共に支え合う魅力ある直売所づくりを推進するため、両者の交流機会の企画、実践に対する助言等の支援を行う。	【JAあかし「フレッシュ・モア」】 ・農作業体験 ・食品加工教室 ・料理教室 ・キャベツ焼販売 ・意見交流会 【JA兵庫南「ふぁ～みんSHOP」】 ・ふぁ～みんフェスタ ・農作業体験 ・料理教室 ・意見交換会等 【JA加古川市南「ファーマーズ」】 ・JAフェスティバル 【いなみ朝市実行委員会】 ・朝市通信の発行 ・アレンジフラワー教室等	・地産地消応援団(SASAE隊)として、消費者に地域農林水産業を支えてもらうよう、今後も直売所を核とした交流イベント等の実施を支援	—	東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所
都市と農村との交流促進事業	北播磨を訪れる交流人口の増加を図るため、大都市圏に近接し温泉施設をはじめとした様々な交流資源がある北播磨地域を広くPRするとともに、都市部住民を対象に北播磨を訪れる体験ツアーなどを実施する。	・北播磨体験ツアーの実施 20名	リピーターの増加からマルチ・ハビテーションの促進までを見据えた息の長い事業展開	400	北播磨県民局 企画調整部北はりまハートランド担当専事
産業廃棄物の不法投棄等防止対策の推進(不法投棄を許さない地域づくり推進事業)	不法投棄が多発している地域において、地域住民主導による自主的な不法投棄未然防止活動を推進するため、不法投棄未然防止モデル地区を指定し、地域住民と関係機関が一体となって、不法投棄のない地域づくりを推進する。	・不法投棄未然防止モデル地区の指定:27地区 ・住民監視活動へ資料提供による支援:立て看板の設置等 ・住民監視員との合同パトロールの実施 ・不法投棄未然防止協力事業所の指定:98事業所にマグネットシート、ハリーンぬいぐるみ配布。 ・ネットワーク連絡会議を3回開催	・不法投棄未然防止活動の継続と今後の発展・強化 ・発生した投棄物について、地域住民や関係機関との連携のもと、排出者への指導等により是正していく。	3,997	北播磨県民局 県民生活部環境担当専事
北播磨元気な「農」づくりの推進	18年3月改訂の北播磨農林業ビジョン2015に定める「北播磨の魅力を楽しむ交流の郷づくり」を目指し、地域農林業の担い手育成、アグリビジネス支援、特産品づくり施策を『北播磨元気な「農」づくり』として一体的に推進する。	・地域特産品づくり(一集落一工房)の推進 新規32件 ・担い手育成支援 税理士等スペシャリスト派遣4回 ・北播磨食と農のフォーラムの開催 消費者等217名 ・農産加工グループ支援アドバイザー派遣10回 ・北播磨食のフェアの開催 (北播磨地場産元気市に参加し、兵庫県認証食品、地域特産品の展示、PR)	・地域特産品開発(一集落一工房づくり)の促進 ・安全安心な農産物の供給、地産地消の推進のため農産物直売所運営能力の向上 ・特産加工品等の販路拡大のためアグリビジネスネットワーク構成員による情報交換の促進	3,911	北播磨県民局 地域振興部社農林振興事務所

北播磨の酒米「山田錦」の需要拡大対策	地域特産物である酒米「山田錦」の需要拡大を図るため、北播磨産山田錦の酒の消費拡大に向けたキャンペーン等に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飲もう！贈ろう！北播磨山田錦のお酒」キャンペーンの実施</li> <li>参加酒小売店 216店</li> <li>・山田錦需要拡大イベントの開催</li> <li>「酒と食の文化を語るフォーラム」参加者91名</li> <li>「山田錦の里探訪ウォーク」参加者146名</li> <li>・地域イベントでのPR</li> <li>①ひょうご&amp;おののハーブまつり</li> <li>②東条湖物産フェア</li> <li>③小売酒販組合東南ブロック研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域酒造組合や小売酒販組合等地域関係機関一丸となり連携して、引き続き山田錦の酒の消費拡大キャンペーン等に取り組むとともに、フォーラム、イベント等を通じ地域特産である酒米「山田錦」の生産振興・需要拡大アピールを図る。</li> </ul>	1,600	北播磨県民局 地域振興部社農林振興事務所
「播但線」列車通学生徒のマナーアップ運動の展開	JR播但線を利用して通学する生徒の乗車マナーの向上を目的に、平成14年から特別対策として、西播磨列車通学生徒指導連絡協議会にマナーアップ指導員を配置し、青少年補導員をはじめ、関係機関・団体の協力を得て、登校日のすべてを対象に、姫路駅から寺前駅間の乗車指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動日数 のべ234日</li> <li>・従事者数 のべ1,041人</li> <li>マナーアップ指導員:750人</li> <li>その他: 291人</li> <li>・指導内容</li> <li>指導(声かけ)人数 1,136人</li> <li>・補導(喫煙)人数 8人</li> </ul>	19年度も引き続き、関係機関との連携のもと、マナーアップの指導に努める。声かけの比率は最近では女子生徒の方が多く目立っているが全体的には改善されており、今後は事業継続の必要性について検討が必要と考えられる。	4,700 (うち市町負担1,700)	中播磨県民局 県民生活部 県民担当 参事
NPO支援 地域ミニプラザ協働運営システム事業	NPOの健全な育成に向けて、NPO法人の設立・運営の円滑化等に資するため「NPO設立講座」「NPO運営相談会」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立講座 5日延べ90人</li> <li>・運営相談会</li> <li>相談会7回 延べ19件</li> <li>出前相談会 3回 3件</li> </ul>	事業実施後3年が経過することから、H19からは必要に応じてNPOの自主事業として実施	470	中播磨県民局 県民生活部 県民担当 参事
西はりま子育て応援団の活動支援	<p>西播磨地域で活動するグループ・人材を発掘し、子育て支援のニーズに的確に対応できるよう「西播磨子育て応援団」の拡充を図っていくとともに交流会を開催し、関係機関・団体の連携を強化していく。</p> <p>・ひろば事業の拡充</p> <p>子育て中の親が集い、仲間づくりを通じて、子育ての悩みを解決し、情報交換の出来る身近な拠点となる多様な「まちの子育てひろば」の開設や機能の充実を支援する。</p> <p>以下、令達事業</p> <p>・「子どもの冒険ひろば」の開設</p> <p>子どもたちの本来の遊び、集団での体験活動を育み、生きる力を養うため開設している。</p> <p>・若者ゆうゆう広場の設置</p> <p>家庭や学校以外で、多様な若者を受け止めるための居場所となる「若者ゆうゆう広場」を運営する団体・グループ等への活動を支援する。</p>	<p>〔ひろば事業の拡充〕</p> <p>・まちの子育てひろば開設数:103カ所</p> <p>・西播磨版「まちの子育てひろば通信」発行(12号:2,400部/13号:2,150部 / 14・15号:1,200部発行)</p> <p>・父親フォーラム開催(18年10月開催)</p> <p>・ひろばアドバイザー登録の推進(19年3月現在51名)</p> <p>・ひろばアドバイザー派遣の推進(派遣回数:42)</p> <p>〔子どもの冒険ひろばの設置〕</p> <p>①「冒険広場しろう」</p> <p>・延開催日数:58日</p> <p>・参加延人数:1,926人</p> <p>②「プレーパーク赤とんぼ」</p> <p>・延開催日数:48日</p> <p>・参加延人数:3,005人</p> <p>〔若者ゆうゆう広場の設置〕</p> <p>①「ゆうゆう☆環☆館」</p> <p>・開催日:毎日10:00~19:00</p> <p>・延開催日数:358日</p> <p>・参加延人数:1,780人</p> <p>②「ゆうゆう龍野」</p> <p>・開催日:週3日(水・木・金)</p> <p>10:00~18:00</p> <p>・延開催日数:192日</p> <p>・参加延人数:1,083人</p> <p>③「ゆうゆうびあしんぐう」</p> <p>・開催日:週2日(土・日)</p> <p>土9:00~17:00、日13:00~17:00</p> <p>・延開催日数:109日</p> <p>・参加延人数:119人</p> <p>④ゆうゆうゆったりほーむ(赤穂市、平成18年6月1日開設)</p> <p>・開設日:週5日(月~金)</p> <p>8:00~18:00</p> <p>・延開催日数:181日</p> <p>・参加延人数:339人</p> <p>8:00~18:00</p>	<p>〔ひろば事業の拡充〕</p> <p>①父親フォーラムの開催</p> <p>②ひろばアドバイザー派遣の充実</p> <p>③ひろばアドバイザー登録の充実</p> <p>④コーディネーター連絡会の開催</p> <p>⑤ひろば開設者の交流会開催</p> <p>⑥西播磨版通信紙の発行部数及び配布先の充実</p> <p>以下、令達事業</p> <p>〔子どもの冒険ひろばの設置〕</p> <p>・若者の参画と人材育成</p> <p>・地域の支援</p> <p>〔若者ゆうゆう広場の設置〕</p> <p>・開設個所の増設</p>	3,945	西播磨県民局 県民生活部 龍野健康福祉事務所、西播磨県民局 県民生活部 県民担当 参事

小規模作業所等自立支援事業	厳しい社会情勢の中、企業への企業への就業促進や在宅福祉の充実との観点から福祉滝就労の場の確保が求められている。このため障害者の雇用環境の改善や授産施設・小規模作業所の整備を促進し、障害者の社会参加と誰もが安心して暮らせるユニバーサル社会の実現を目指す。	・西播磨障害者授産施設・小規模作業所連絡協議会の再結成(H18.6.6)(4回開催) ・授産製品の展示即売会 ・授産製品の展示ケースの設置(庁舎5カ所) ・のじぎく国体花いっぱい作戦(授産施設等による花植)	・西播磨障害者授産施設・小規模作業所連絡協議会の運営支援 ・授産製品の展示即売会 ・物品調達優先発注 ・授産製品等製品カタログ等の作成	1,523	西播磨県民局 県民生活部 龍野健康福祉事務所
「南但馬歴史・文化ミュージアム」の推進	近畿圏最大級の茶すり山古墳を中核とした交流拠点の整備や既存地域資源のネットワーク化を進め、南但馬地域をはじめとする但馬地域の活性化や歴史文化を生かした交流促進を図るため「南但馬歴史・文化ミュージアム構想(仮称)」を策定し、構想の実現に向けた総合的なフォローアップを行う。また、豊かな地域資源を活用し、地域が一体となって花と緑による魅力ある農山村の景観づくりの推進を図る。	中核交流拠点(道の駅「但馬のまほろば」、古代あさご館)のオープニングイベントを地域住民・団体の参画のもと開催 ・開催日 平成18年7月16日(日) ・参加者 約10,000人 ・内容 子ども古代衣装パレード 古代ファッションショー 地域伝統芸能 古代グルメ発見 国体PR 等 ・主催 南但馬歴史・文化ミュージアム推進協議会	・住民・関係団体・行政で構成する「南但馬歴史・文化ミュージアム推進協議会」等と連携しながら、拠点施設を中心に交流人口の拡大をめざし、地域の活性化を推進する。	5,000	但馬県民局 企画調整部 企画調整担当(19)企画調整課
コウノトリと共生する地域づくりの推進	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			6,404	但馬県民局 企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当参事
但馬地域鉄道利用促進事業の推進	利用人員の減少、ダイヤの減便等様々な課題を抱える但馬の鉄道について、行政、地域関係団体、鉄道事業者が一体となり、地域あげでの普及啓発に取り組み、地域住民や来但者に鉄道の利用を促す。	鉄道利用促進キャンペーンの実施 ・利用促進啓発ポスターの作成 300枚 ・利用促進啓発リーフレットの作成 10,000枚 ・利用促進啓発グッズの作成 1,200枚 ・利便性向上対策調査の実施 アンケート調査の実施 利便性向上施策の検討	・利用促進の啓発 ・調査・検討に基づく「駅活性化事業」「利用促進事業」を推進(実施例) ○事例集の作成 ○市町担当者レベルによる検討会	600	但馬県民局 企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当参事
たじま「子育て」ネット行動プログラムの推進	たじま「子育て」ネット(H16設立・41団体・機関で構成)自らの行動計画として平成17年度に策定されたたじま「子育て」ネット行動プログラムに基づき、同ネットと協働しながら地域ぐるみによる少子化・子育て支援対策の推進を図る。	・子育て支援者研修会の開催 開催回数:1回 ・機関紙の発行 発行回数:4回 ・ホームページの開設	たじま「子育て」ネット行動プログラムの具体化に当たっては、ネット構成団体及び子育て支援団体等の主体的な取り組みを推進するとともに、引き続き子育て支援に関する様々な情報提供に努め、子育て支援活動の連携推進を図る。	629	但馬県民局 県民生活部 県民担当参事
但馬長寿の郷づくり協議会の運営	超高齢化社会を先取りしている但馬地域に、高齢者をはじめとするすべての人々が自己の個性と能力を最大限に発揮し、生きがいを持って生涯を過ごすことができる長寿社会の理想郷を創出する。	但馬地域の行政・関係団体で組織する「但馬長寿の郷づくり協議会」で同協議会が実施する事業計画等について協議を行う。 開催数:総会1回、役員会1回、部会2回 委員数:89団体	行政・関係団体の参画と協働による各種課題や事業企画の協議	842	但馬県民局 但馬長寿の郷企画調整課

花と緑による南但馬地域景観創出事業の推進	但馬の玄関口となる南但馬地域において、交通の主要拠点(IC・SA)や交流拠点施設を中心に、集落ぐるみで花と緑を生かした景観づくりを行い、魅力ある地域を創出する。	・集落景観づくりの取り組み(継続地区・22地区) ・集落景観づくりの取り組み(新規地区・8地区) ・間伐材活用プランターの設置(288基) ・推進大会の開催(出席者 107名)	・集落景観づくりの取り組み(継続16地区)の定着化への支援 ・事業終了14地区での取り組み状況調査及び事業評価の検証 ・間伐材活用プランターによる花づくりの推進 ・花と緑による南但馬地域景観創出推進大会の開催 ・事業評価の中間取りまとめ	13,728	但馬県民局 地域振興部 和田山農林 振興事務所
北但馬グリーン・ツーリズム推進事業	都市住民及び北但馬地域(豊岡市、美方郡)の住民に対し「グリーン・ツーリズム」の推進と普及啓発を行うことにより、北但馬地域における都市と農山漁村の交流を促進するとともに、農林水産業とツーリズム振興に寄与する。	・企画したバスツアーへの参加者数 447名 ・農業、農村生活体験への参加者数 81名 ・直売所魅力アップ研修会への参加者数 182名	グリーンツーリズム関連交流拠点施設を継続的に県民へ広報するとともに、既存施設を生かし県民ニーズに合致したソフト面での改良を検討する。	4,166	但馬県民局 地域振興部 豊岡農林振 興事務所
グリーンツーリズムの推進	構造改革特区制度を活用し、農家民宿業、市民農園整備事業、濁酒製造事業を核とした体験交流型ツーリズムなどにより、都市と農村の交流の推進を図る。	・但馬まるごと感動市での「どぶろく」PRに参加した免許取得者 4名 ・農家民宿開業講座参加者数 19名	引き続きグリーン・ツーリズム特区制度の普及及び啓発を行う。 また、特区制度を活用した市民農園整備、農家民宿の開業、どぶろく製造免許取得希望者に対し、アドバイスを行う。	300	但馬県民局 地域振興部 豊岡農林振 興事務所
南但馬の食材を活用したふるさと料理創作支援	南但馬地域では、但馬牛、有機野菜、岩津ねぎ、黒大豆などの豊富な食材が生産されているが、地域をイメージさせる郷土料理がなく、都市と農村の交流人口の増加を図るには、新たな“ふるさとの料理”を創作し提供するG・T関係飲食業者やスローフードの里づくり協力店を認証する。	・ふるさとの料理の完成試食会の開催。(参加者40名) ・グリーンツーリズム交流会を開催しふるさと料理を試食(参加者100名) ・「スローフードの里づくり協力店」の認証(10店舗) ・ガイドマップの作成配布(25,000部)	引き続き「スローフードの里づくり協力店」の追加認証を行う。 また、ふるさとの料理を提供する店を確保するように更にPR活動を行う。	1,898	但馬県民局 地域振興部 和田山農林 振興事務所
丹波地域防災コミュニティづくり事業	丹波地域の県民の災害に対する危機意識の醸成と防災意識の高揚を図るとともに、防災活動への自主的な参加を促すため、「丹波地域防災活動推進委員会(丹波地域の防災活動実践者、消防団員等で構成)」を設置し、その委員が地域に直接出向き、防災に関する講演や防災訓練の指導・助言などを行う。	1 丹波地域防災活動推進委員会の開催 2回 延べ18名参加 2 防災講演会・防災訓練の実施 8地区 800名参加 3 イベントによる防災に関する普及啓発 4会場 1,210名参加	市と連携して、防災訓練等を平成18年度から3年間で44小学校単位で実施する。	700	丹波県民局 企画調整部 防災担当参 事
丹波大納言小豆の生産・消費拡大支援事業	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			3,000	丹波県民局 企画調整部 丹波の魅力 づくり担当 参事、同地 域振興部柏 原農林振興 事務所、同 柏原土地改 良事務所

丹波食文化発信事業	丹波地域の生産者、加工業者、流通業者、観光関連業者等を構成員とする「丹波食文化発信機構」を設置し、「おいしくて安心できる丹波の食文化」を全国に向け発信し、丹波地域の農林業をはじめ地域産業の活性化を図る。	・各種イベントでの出店の充実 ・年度末会員数 34 ・年度末認証商品数 78	・会員数の増強 ・認証商品数の増強 ・情報提供の充実	0	丹波県民局 地域振興部 柏原農林振興事務所
丹波の森フェスティバル事業	丹波地域の伝統文化の継承・発展を図るとともに、地域住民をはじめ、各種団体や企業、市町など丹波地域の各階各層が取り組む様々な活動成果の発表や生涯スポーツ大会を通じた相互交流の機会として開催する。	・ふれあい交流イベント 8/11,12,13開催 3,000人 ・文化イベント 11/23,25開催 1,996人 ・スポーツイベント 8/5,6,26開催 638人 ※全県文化イベント(ふれあいの祭典ふれあいフェスティバル2006) 10/28,29開催 40,000人	平成19年度は文化イベント、スポーツイベントを実施するとともに丹波地域の魅力や地域づくり活動等の情報共有の場とするなど、新たな展開が必要となってくる。	5,000	丹波県民局 県民生活部 県民担当参事
ゴミのないきれいな丹波の森づくり	テレビなどクリーン作戦では対応できない大型ゴミを撤去し、ゴミを捨てさせない地域づくりに取り組む自治会に対し、事業費を補助する。	篠山市本郷自治会等10自治会が以下の事業を実施 ・不法に投棄された廃タイヤ・廃家電等の撤去 ・不法投棄パトロール ・投棄防止ネットの設置 ・看板の設置、チラシの配布による啓発	「丹波の森構想」の理念である「自然や文化を大切にしたいまちづくり」のための、参画と協働による地域づくりの場として、事業を推進する。	1,781	丹波県民局 県民生活部 環境担当参事
丹波交流ネットワーク形成事業	交流農業を実践している農家・集落営農組織・農産品の流通加工団体・観光団体の組織化を図り、交流農業に関する情報の提供や都市住民との交流のための体制を整備して、丹波農業の新たな活性化を図る。	・のぼりの配布(350本、600枚) ・交流マップの作成(国体用5,500部、一般20,000部) ・ホームページの増設 ・会員の勧誘(会員数77人)	・交流農業支援 ・田んぼのオーナー制の拡大 ・広域交流イベントの実施 ・丹波交流農業のファンクラブづくり	4,025	丹波県民局 地域振興部 柏原農林振興事務所
山仕事ふれあい支援事業	京阪神から近い丹波地域の特性を生かし、里山や農山村への関心の高い都市住民と地域住民との協働により、丹波の森づくりを図るとともに、都市農村交流を促進する。	・里山林整備体験学習 10/21、3/3開催 32人 ・広葉樹植栽体験学習 11/23開催 100人 ・間伐・枝打体験学習 12/2開催 12人	平成18年度で終了	888	丹波県民局 地域振興部 柏原農林振興事務所
丹波大納言小豆・優良種安定確保支援事業	大納言小豆は、湿害等により、反当たりの収穫量が目標数値より低いという現状があり、早急に増収対策を講じる必要がある。そこで、良質な種子を安定的に確保するため、採種目的のほ場に暗渠排水工事を実施する。	・支援地区＝1地区 (0.3 ha)	生産者とともに小豆の作柄に関する検証を実施し、その結果に基づき、今後の支援の方向を検討する。	623	丹波県民局 地域振興部 柏原土地改良事務所
むらしごと支援事業 (都市との交流による地域づくり)	農村への関心の高い都市住民の参画と協働のもと、新しいふるさとづくりと都市農村交流の進展を図るため、「ふるさとむら保全活動」に取り組もうとする集落等を対象に、活動開始に必要な経費に対する助成を行う。	助成実施地区 2地区	「ふるさとむら保全活動」の実施状況を踏まえて検討する。	1,500	丹波県民局 地域振興部 柏原土地改良事務所

丹波まちづくり支援事業	緑条例の計画整備地区制度を活用して、集落単位で住民主体のまちづくりを展開している。これを積極的・効率的に展開するには、行政と住民の間で触媒の役割を果たすNPO等の活動が不可欠であるので、このようなNPO等を支援する。	支援地区＝4地区	・緑条例の計画整備地区制度など、施策への展開 ・公募などによる、より幅広い連携先の確保	300	丹波県民局 県土整備部 森のまちづくり担当 参事
淡路島まるごとミュージアム構想の推進	淡路島には、「自然」「歴史」「産業」「伝統文化」など多様な「地域資源」が豊富に存在する。これらの地域資源と住民参加による地域活動を有機的につなぎ、エコミュージアムの形で再構築する「淡路島まるごとミュージアム構想」を住民と行政が一体となって推進する。 同構想の推進により、淡路島の魅力向上、ふるさと意識の高揚、淡路地域全体の一体感の醸成を図るとともに、魅力の高まった地域資源を生かした情報発信の強化により、ひと・もの・情報の交流拡大をめざす。	・検討会の設置・運営 同構想の考え方や今後の進め方等について、継続的に勉強会を開催(7回) ・モデルステイの取り組み 同構想の普及・啓発を図り住民に参画を促すために、各委員が他人に見せ自慢し誇れる地域資源(宝)を発掘し、磨き、発信する過程(「宝さがし」)を率先して実践する取り組みを進めた(10項目)	地域住民が主体的に参画し、知識・知恵・想いをミュージアム活動のなかで実践するとともに、ミュージアム活動を通して、地域への愛着・誇りを育てる。	8,247	淡路県民局 企画調整部 淡路まるごとミュージアム担当 参事
交通安全淡路女性会議の開催	交通安全の啓発や、子どもの頃から交通ルールを守る環境づくりに果たす女性の役割の大きさに着目し、地域の女性が持っているパワーを結集することで、地域住民の交通安全に対する意識の向上と、交通事故の撲滅を目指し、安全で安心できる淡路島づくりに取り組む。	開催日時 平成18年9月2日(土) 13:30～16:00 開催場所 三原公民館 参加者数 約470名 内容 1 講演 橘 喜洋子(全国交通事故遺族の会) テーマ: 命の大切さについて 2 交通安全運動活動事例報告 (岩屋交通安全協会、洲本交通安全協会婦人部、南あわじ交通安全協会による啓発劇) 3 交通安全ビンゴ大会 4 交通安全宣言	平成18年度で事業終了	300	淡路県民局 県民生活部 県民担当 参事
「淡路くらしのひろば展」の開催	毎日の暮らしの中で生活者が感じる疑問や問題点及びタイムリーな話題を取り上げ、住民が実践活動を行う契機とするべくフォーラムを開催する。 また、婦人会、消費者団体、いずみ会などの女性団体からなる「淡路くらしのひろば展実行委員会」構成団体の活動発表の場を設定し、各団体の活動を更に活性化させる。	・実施主体:淡路くらしのひろば展実行委員会 ・実施日:19年1月27日 ・参加者:約400名 ・内容:兵庫県自治賞等の表彰、リサイクル作品等の展示、講演、リサイクルファッションショーを実施 ・リサイクル等ゴミの減量化の啓発	・淡路地域の女性団体を中心とする各種団体の参画と協働により、地域課題の解決に向けて考える場を住民に提供することにより、よりよい暮らしの実現に向けて自ら行動する機運が高まる。	500	淡路県民局 県民生活部 県民担当 参事
環境にやさしい5R生活推進運動	身近なところからごみを減らすため、大型量販店の店舗前で環境にやさしい5R生活推進運動を行い、買物袋持参の街頭啓発と買物袋持参率調査を実施することで、住民の環境問題への意識を深め、ごみの減量化を推進する。	・実施日:18年12月5日 ・参加者:約210名 ・内容:身近なところからごみを減らすため、淡路女性団体連絡会のメンバーが中心になり、淡路島内の量販店14店舗の店舗前で買物袋持参率調査及び買物袋持参運動の啓発活動を実施	・淡路地域の女性団体を中心とする各種団体の参画と協働により、広く住民に啓発活動を行う。	1,000	淡路県民局 県民生活部 県民担当 参事

あわじ菜の花エコプロジェクト推進事業	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照	5,784	淡路県民局 県民生活部 環境担当参事		
くみうみの森・川・海再生プラン推進事業	ひょうごの森・川・海の再生に向け、淡路地域では「くにうみの森・川・海再生プラン」に基づく総合・計画的な取り組みを推進するため、モデル地域を中心に瀬戸内の保全創造と「森・川・海」をつなぐ視点からの先導的な取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境保全隊(エコレンジャー)」の実施 8月29日</li> <li>・環境保全隊認定式の開催 10月28日</li> <li>・「環境学習島あわじマップツアー」の実施 7月31日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO団体との連携等による環境保全隊活動の実施等、参画と協働の取り組みの更なる推進</li> <li>・各小学校の総合的な環境学習等への協力</li> <li>・環境学習指導者の養成、地域における環境学習・教育の推進</li> </ul>	813	淡路県民局 県民生活部 環境担当参事
淡路環境美化月間運動の推進	毎年7月と11月の「淡路全島一斉清掃の日」を含む1カ月間を「淡路環境美化月間」とし、清掃活動や花づくり運動などの環境美化運動を展開するとともに、ごみの減量化や地球温暖化防止対策など人類の持続的発展を可能とする生活様式への転換を図る取り組みについて普及啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「淡路全島一斉清掃」の実施 7月2日(第1日曜日) 11月12日(第2日曜日)</li> <li>・国体開催にむけたクリーンアップ活動の実施</li> <li>・ポイ捨てをなくす美しい島づくり条例等の理念の普及啓発</li> <li>・淡路公園島憲章の浸透を通じた花づくり運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会組織が中心として全島民が取り組むことにより地域の活性化</li> <li>・児童生徒も参加することによる環境教育の推進</li> </ul>	1,700	淡路県民局 県民生活部 環境担当参事
ゆずるはの森元気アップ作戦の展開	平成15、16年度に策定された「諭鶴羽山系総合プラン」実現に向け、人と自然が共生できる森づくりを基本方針に、豊かな自然環境を守り育む「保全」、やすらぎと恵みをもたらす自然環境を創造する「利活用」、本来の森林が持つ災害防備機能を回復する「防災」を環境整備の基本軸として展開していく。 (概要) (1)豊かな自然環境を守り育む「保全」 ・「里山防災林整備」 ・漁業者の森づくり など (2)やすらぎと恵みをもたらす自然環境を創造する「利活用」 ・緑の少年団地区交流集会 ・ダムフェスタ など (3)本来の森林が持つ災害防備機能を回復する「防災」 ・ため池整備事業 ・復旧治山事業 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;保全&gt; ・漁業者の森づくり(漁業者の森の保育事業)</li> <li>・学校林の環境教育実践推進事業 など</li> <li>&lt;利活用&gt; ・環境保全隊(エコレンジャー)</li> <li>・緑の少年団地区交流集会 ・ダムフェスタ など</li> <li>&lt;防災&gt; ・復旧治山事業 ・保安林改良事業 など</li> </ul>	森林ボランティア活動や自然観察会等を通じて、行政・市民活動グループ・地域住民・学校・有識者等のネットワークの形成・展開を図り、地域住民主導の保安全管理活動を形成する。	401,267	淡路県民局 地域振興部 洲本農林水産振興事務所
海に見える美しい棚田づくりの推進	ほ場整備など集落全体が参加する事業をきっかけにして、集落が誇りを持ち、自らの手で地域を守り育てていく人材の育成(ひとづくり)と地域の主産業である農業を中心とした生活基盤づくり(むらづくり)を進め、活力ある淡路の地域(くにうみの里)づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの開催 4回</li> <li>・地域イベント、交流イベントの開催 2回</li> <li>・集落営農組織の設立</li> <li>・むらづくり構想の策定</li> <li>・ほ場整備の実施</li> </ul>	ほ場整備完了後を見据えた担い手の確立と世代を超えた集落内交流、さらに自らの手で里づくりを行うことで地域への愛着をもつことへの心の醸成	既定予算	淡路県民局 地域振興部 洲本土地改良事務所

あわじ総合緑花プランの推進	あわじ総合緑花プランは、あわじ花回廊計画の後継計画として、民間の花づくり組織の代表者及びNPO団体等と行政が入ったワークショップの開催を通じて作成した、淡路の今後10年間の緑花活動の方針を示すものである。 同プランの推進に際しては、推進フォーラム、推進会議等の開催を通じてプランの普及を図り、緑花学習教室の開催、各種イベント向けの沿道緑花やオープンガーデン開催支援などの地域活動との連携・支援を行う。また、自生植物に着目した沿道緑花を推進するため、パンフレットの作成や自生植物活用推進に対する助成を行う。	・あわじ総合緑花プラン推進フォーラムの開催(150名) ・あわじ総合緑花プラン推進会議の開催(4回) ・あわじオープンガーデンの開催支援(ガイドマップを6,000部作成) ・淡路の自生植物紹介パンフレットの作成及び配布(1,000部) ・緑花学習教室の開催(堺小学校をはじめ合計14回) ・県立淡路景観園芸学校への自生植物調査研究の委託	・「あわじ総合緑花プラン推進会議」を開催し、各々の事業の連絡調整及び連携強化を図っているところである。 ・公民が同じ目線に立って協議し、行動に結びつける場として同推進会議を有効に活用しながら、公民共通の課題である「持続可能な淡路らしい緑花」に取り組んでいく。	5,174	淡路県民局 県土整備部 まちづくり担当参事、淡路県民局 県民生活部 環境担当参事
---------------	---	---	--	-------	--

■ 県民同士が議論を重ね、合意に至る過程を支援するため、専門家の派遣、自治意識の高まりに基づく新たなしくみの検討など、県民の主体的な取り組みを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
生活復興県民運動のネットワーク・活動支援	震災復興時の生活復興県民ネットの貴重な絆とノウハウを継承していくため、各団体の被災者支援活動に関する情報発信を行う。	・地域活動コーディネーター(3名)を配置 ・地域活動団体等からの情報収集やホームページや情報誌による情報発信	・引き続き地域活動コーディネータを配置し、同様の情報発信を行うとともに、学生やシニア層のボランティア活動の支援強化を図る。	10,823	県民政策部 参画協働課

□活動を総合的に支える中間支援機能を持つ組織・団体を支援します

■ ボランティア活動の全県的な支援拠点であるひょうごボランティアプラザが、公的な支援機関、専門的知識を持つ大学、企業などと連携しながら、さまざまな中間支援機能の充実を支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
ひょうごボランティアプラザの運営	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			113,222	県民政策部 参画協働課
中間支援活動助成(ひょうごボランティア基金助成)	ネットワーク構築、調査研究、講座等の開催、相談事業等を行おうとする中間支援活動のレベルアップを図る。	・助成件数 7件(6,500千円)	・制度の周知及び県民ニーズの把握に努め、制度の活用を一層促進する。	6,500	県民政策部 参画協働課
“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動の推進(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局

都市農村交流連携促進事業	市民農園や山村滞在、その他交流活動の受け入れ希望側と利用希望側との結びつけや、農家側と消費者側との産消提携等、都市側と農村側のそれぞれのニーズの把握や両者のマッチングを行うNPO等の団体の活動に対して支援を行うことにより、都市と農村の交流、連携を図る。	「食と農の安全と地産地消を図るための都市と農村の交流事業」を行うNPO法人ほか4NPO法人に対して助成金を交付	19年度からは制度を拡充し、NPO法人に加えて地域団体(生産者グループ、消費者グループ等)の活動にも助成を行うこととする。	1,000	農林水産部 総合農政課
農村ボランティア活動の支援(再掲)	—				農林水産部 農村環境課 (19総合農政課)
東播磨地域づくり倶楽部の支援	東播磨地域ビジョンの実現を目指す地域づくり活動の活性化やネットワーク化を図るため、地域づくり活動の連携を図る情報交流会の開催のほかメンバー相互の情報交換、その他活動連携の支援を行う。	・情報交流会の開催(月1回)	情報交換会の定期的開催のほか、地域づくり活動の活性化やネットワーク化のための活動を検討していく。	—	東播磨県民局 企画調整部企画調整・市町担当参事

■災害時のボランティア活動がスムーズに展開されるよう、行政(県・市町)、県・市町社会福祉協議会、ひょうごボランタリープラザが連携し、災害救援NPO/NGOや企業、各種関係団体など多様な主体による、平時からのネットワークづくりを進めます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
ひょうごボランタリープラザの運営(再掲)	—				県民政策部 参画協働課
災害救援ボランティア活動支援システムの強化事業	災害時に各機関の機能が効果的に発揮できるよう、平常時から災害救援ボランティア支援関係機関・団体(県、ひょうごボランタリープラザ、市町ボランティアセンター、災害救援専門NPO法人、企業・労働組合等)の役割・機能の明確化、相互ネットワークの強化等を図り、災害救援ボランティア活動支援体制の確立と定着を進める。	・災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議においてネットワークの強化 ・市町防災訓練への参画(香美町・三田市) ・災害救援マニュアル作成ハンドブックの改訂	災害発生時に備え、平時より関連機関のネットワークをさらに強化し、支援システムの拡充を図る。	3,066	県民政策部 参画協働課

□各地域での総合的な支援拠点機能を充実します

■地域づくり活動を支援するため、生活創造センター構想の推進など各県民局圏域ごとに地域づくり・生活創造活動支援拠点の充実を図ります

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成18年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H18事業費 (千円)	担当課
生活創造センター構想の推進(再掲)	—				県民政策部 生活創造課

地域生活創造情報プラザの設置・運営	県民が、自分のくらしを高め、主体的に参画しながら、成熟社会にふさわしい新しいライフスタイルづくりを实践していくことができるよう、神戸生活創造センターや丹波の森公苑の運営をするとともに、文化会館や生活科学センター等において「地域生活創造情報プラザ」を整備・充実し、地域文化や消費生活をはじめ、子育て・青少年、男女共同参画、健康福祉、環境など多彩な分野の生活創造活動を支援する。	・生活創造センターが整備されていない地域には、文教府、文化会館、生活科学センターなどに地域生活創造情報プラザを設置し、生活創造活動コーナー(各1名)、生活創造応援隊(各20名程度)を配置 ・地域生活創造情報プラザ登録グループ数 但馬文教府 104 西播磨文化会館 93 淡路文化会館 71 東播磨生活科学センター77 姫路生活科学センター 56 神戸生活創造センター447 丹波の森公苑 124	・県民が主体的に取り組むさまざまな活動を総合的に支援する拠点として、生活創造センターの整備 ・同プラザが中心となり、各県民局や市町、NPO/NGOや多様な中間支援組織と連携しながら、人材、施設、情報等地域資源の再ネットワーク化を図ることを通じた、活動支援機能の一層の充実 ・県民交流広場の取り組みとの連携・支援	21,306	県民政策部生活創造課
加古川総合庁舎・東播磨生活創造センターの整備	生活創造センター構想をもとに、県民の主体的な活動を支援する東播磨生活創造センターを、加古川総合庁舎と一体的に総合庁舎の敷地において整備する。	・建設工事等着手(10月) ・生活創造センター東播磨委員会において、事業・運営の基本的考え方等について検討(2回)	・建設工事等の着実な実施 ・引き続き生活創造センター東播磨委員会の意見を聞きながら、事業内容や運営方法について検討 ・ソフト先行事業の充実や備品の整備等開設に向けた準備	76,935	県民政策部生活創造課、企画管理部管財課、東播磨県民局

■生活創造センターの整備や文化会館の活動支援機能強化などを通じ、各県民局圏域における総合的な地域づくり・生活創造活動支援機能の充実を図ります

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
地域生活創造情報プラザの設置・運営(再掲)		—			県民政策部生活創造課
加古川総合庁舎・東播磨生活創造センターの整備(再掲)		—			県民政策部生活創造課、企画管理部管財課、東播磨県民局

■県民局圏域の総合的な拠点機能の充実にあたっては、身近な地域を舞台とした拠点のネットワーク化支援や、各県民局や地元市町、地域団体、ボランティア・グループ・団体、NPO/NGO、大学・研究機関、企業などとの協働による企画・運営手法なども含めて、県民(生活者)の立場に立って取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成18年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H18事業費(千円)	担当課
生活創造応援隊の設置	各文化会館等ごとにボランティアによる「生活創造応援隊」を20名ずつ設置し、生活創造情報プラザでの活動支援を行うとともに、学習機会、活動の場、グループ等の活動状況等地域における生活創造活動に関する情報を集め、「生活創造しんぶん」を発行、インターネットを通じた情報発信を行う。	・生活創造しんぶんの発行状況 ネットめばえ(西播磨) T-Dream(但馬) ポケット淡路(淡路) ぐぐっと!北播磨(嬉野) 以上毎月 3,000部 PiPiN(神戸) 毎月 2,400部 とうばんCha2(東播磨) 姫路生活科学センター(中播磨) 以上隔月 3,500部 たんば.COM(丹波) 2,000部、年2回	・県民交流広場の取り組みの情報収集・発信など「生活創造しんぶん」の一層の充実 ・様々な媒体を通じた情報発信 ・交流会を通じた登録グループのネットワーク化の促進など生活創造情報プラザでの活動支援 ・生活創造応援隊OBへ情報提供等生活創造・地域づくり活動に関するフォローアップ	—	県民政策部生活創造課